

第二十六條 前條契約事項ノ變更ニ係ルモノハ更ニ之レカ付帶ノ契約(第七號)ヲ爲サシム且ツ變更ノ結更前契約金額ヨリ増加スルトキハ其増加額ニ對スル契約保證書ヲ追納スヘシ但減額ノ場合ニ於テハ既納ノ保證金ヲ其儘ニ据置クモノトス

第二十七條 工事請負人ニ於テ當應ヨリ工事ノ爲メ交付シタル材料ヲ亡失毀損シタルトキハ其原因ノ如何ヲ問ハズ損害ヲ賠償スヘシ但其材料ヲ既ニ工事ニ使用シタル後ニ於テ天災其他不可抗ノ原因ト認定シタルモノハ此ノ限りニアラス

第二十八條 工事完成シタルトキハ物件入形帳ヲ添付シ主務吏員ヲ經由届出(第十號)竣功検査ヲ受クヘシ

工事用物件ノ供給ハ物件入形帳ニ據リ主務吏員ノ検査ヲ受ケ納入スルモノトス

第二十九條 工事竣功及工事用物件供給ノ検査以前ニ係ル亡失毀損等ハ總テ工事請負人又ハ工事用物件供給人ノ損失トス

第三十條 工事竣工後一定ノ期間ヲ定メ保險セシメタル工事ニシテ其期間内ニ破損若ハ亡失シ之レカ保險ノ義務ヲ怠リタルトキハ縣ニ於テ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシム

前項ノ費用ハ契約保證金ヲ以テ之ニ充テ尙不足ノトキハ之ヲ追徴シ又殘餘ヲ生スルトキハ之ヲ還付ス但契約保證金他ノ物件ヲ以テ代納シアル場合ニ於テハ之ヲ賣却シ其賣却代金ノ内ヨリ先

ツ賣却費用ヲ扣除シ其殘額ヲ以テ執行費用ニ充ツルモノトス

第三十一條 工事竣功検査ニ際シ設計其他指定ニ違背セル廉アルトキハ検査ヲ中止シ期限ヲ定メ改築又ハ増補ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ若シ指定期限内ニ改築又ハ増補ヲ爲サ、ルトキハ當應ニ於テ之ヲ執行シ其費用ハ支拂フヘキ請負金ノ内ヨリ扣除シ尙不足ヲ生スルトキハ契約保證金ヲ以テ之レニ充ツルモノトス但契約保證金他ノ物件ヲ以テ代納シアル場合ハ第三十條第二項ノ但書ヲ準用ス

第三十二條 工事竣功検査ニ際シ主務吏員ニ於テ必要ト認ムルトハ其部分ヲ取毀タシムルコトアルモ前項ニ依リ取毀タル部分ハ期日ヲ定メテ修補セシム其費用ハ工事請負人ノ負擔トス但此ノ場合ニ於テ之ヲ修補ナ拒ミタルトキハ前條第二項ニ準ス

第三十三條 契約金并ニ保證金ハ工事竣功又ハ工事用物件供給ノ検査ヲ了スルニアラサレハ之レカ支拂又ハ還付ヲ爲サ、ルモノトス但請負金高千圓以上ニ係ル工事ニシテ其五分以上成工シタルモノ(契約保證金ヲ納付シアルモノニ限ル)ハ出願ニ依リ特ニ出來形ヲ檢定シ其金高七分以内ヲ假渡スルコトアルヘシ工事用物件供給ニシテ其契約金額五百圓以上ノモノ亦之ニ準ス

前項ノ出來形檢定ハ一時ノ計算ニ止マリ他日検査ノ場合ニ於テハ其効力ヲ有セサルモノトス
第三十四條 天災事變其他止ムヲ得サル事故ノ爲メ契約期限内ニ於テ工事ヲ竣功セス若ハ工事用

物件ヲ供給スルコト能ハサル場合ニ在リテハ請負人又ハ供給人ノ出願ニ依リ正當ノ理由アリト認ムルトキハ違約金ヲ免除シ相當ノ延期ヲ許スコトアルヘシ

第三十五條 許可ヲ經タル場合ヲ除クノ外工事竣功期限若ハ工事用物件供給期限ヲ經過シタルモノハ其延滞日數一日ニ付契約金額千分ノ五ニ相當スル金員ヲ違約金トシテ契約金額ノ内ヨリ扣除スルモノトス但延滞日數八十日以上ニ涉ルコトヲ得ス

第三十一條ニ依リ改築又ハ増補ヲ要スル日數三日以上ニ涉ルトキハ本條ニ依リ處分ス

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ契約ヲ解除シ契約保證金ハ縣ノ所得トス

- 一 契約ノ解除ヲ請求シタルトキ
- 二 第十九條ノ指揮監督若ハ命令ニ從ハサルトキ
- 三 第二十一條ニ違背シ若ハ違背スルノ虞アリト認めタルトキ
- 四 第二十六條ノ契約書及契約保證金ヲ追納セサルトキ
- 五 第三十五條但書ノ日數ヲ經過シタルトキ
- 六 契約後第十三條第五號ノ事實アルコトヲ發覺シタルトキ
- 七 工事着手期ニ着手セサルトキ
- 八 許可ヲ得スシテ工事ヲ休業シタルトキ又ハ工事施行并ニ物件供給緩慢ニシテ期限内ニ竣了ノ見込ナシト認ムルトキ
- 九 第十六條第二項ノ届出ヲナサ、ルトキ

十 工事請負人又ハ其代理人主務吏員ノ承認ヲ得スシテ三日以上工場ニ出頭セサルトキ

十一 第三十九條第二項ノ追納ヲ爲サ、ルトキ

第三十七條 前條ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ工事ノ既成部分又ハ既納ノ物件ニ對シ其設計ニ違ハサルモノハ當廳ノ見積リヲ以テ價格ヲ算定シ其十分ノ八以内ノ金額ヲ工事請負人又ハ物件供給人ニ交付スルモノトス但既成部分ニシテ設計ニ違ヒタルモノアルトキハ相當ノ期限ヲ指定シ之ヲ取拂ハシメ又ハ改築増補ヲ爲サシムヘシ若シ其期限内ニ履行セサルトキハ無償ヲ以テ既子ニ縣ノ所得トス

第三十八條 工事請負人又ハ物件供給ノ契約解除ハ其命令書ヲ本人若ハ其家族ニ交付シ又ハ公示ノ日ヲ以テ解除シタルモノトス

第三十九條 一ノ保證物件ヲ以テ二兼以上ノ保證金ニ充ツル場合ニ於テ其内或ル兼ニ對シ保證金ノ處分ヲ要スルトキハ其保證物件ノ全部ヲ公賣ノ上先ツ其費用ヲ扣除シ次テ處分箇所ニ係ル保證金ヲ收入シ殘餘金額ハ殘存部分ノ保證金ニ充ツルモノトス

前項ノ場合ニ於テ若シ不足ヲ生スルトキハ直チニ追納ヲ命スルモノトス

第四十條 工事請負人又ハ物件供給人死亡シ其相続人ニ於テ本契約ノ承繼ヲ申出ル場合ニ於テ適當ト認ムルトキハ之ヲ許容スルコトアルヘシ

第四十一條 契約金并ニ契約保證金ノ請求ハ第十一號第十二號書式ニ據ルヘシ

第四十二條 本規則ニ依リ検査檢定ヲ行フトキハ工事請負人又ハ物件供給入若ハ各其保證人立會スヘシ但立會セサルコトアルモ其執行ヲ停止セス

前項検査檢定ノ結果又ハ執行ニ對シテハ異議ヲ申立ツルヲ得ス

第四十三條 工事竣功物件供給ノ上請負人供給人ハ主務吏員ノ指揮ニ從ヒ自費ヲ以テ跡掃除ヲ爲スモノトス

第四十四條 工事請負人又ハ物件供給人其契約ノ責任ハ竣功又ハ物件供給検査濟ヲ以テ解除シタルモノトス但第十八條ノ場合ハ此ノ限リニアラス

附 則

第四十五條 指名入札又ハ隨意契約ニ依リ工事請負又ハ物件供給ヲ爲サシムルトキハ本則ヲ準用ス但隨意契約ノ場合ハ本則第十五條ヲ適用セサルコトアルモノトス

第四十六條 第八條第三項保證金代納物件ノ種類價格ハ設計書又ハ注文書等閱覽ノ場所ニ於テ之ヲ示ス

第四十七條 勞力ノ供給ハ本則中工事用物件供給ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十八條 明治三十年月本縣告示第六十九號土木工事及材料購入請負規則ハ本則施行ノ日ヨリ

之ヲ廢止ス但シ現ニ請負契約ニ係ルモノハ仍ホ其規則ニ據ル

(第一號書式) 入 札 書

第何號 (公告ノ番號) 何川通リ大字何村 一何々工事

此入札金額何程

右金額ヲ以テ御廳工事請負規則及公告ノ要件ヲ遵守シ入札致候也

年 月 日 何府縣何郡市町村大字何々何番地 入札人 氏 名 印

知 事 宛

備 考

- 一 公告ニ二條以上列記シアルトキハ一廉毎ニ入札金額及入札保證金額ヲ各別ニ明記スヘシ
- 一 郵便入札ニ據ルトキハ左ノ雛形ニヨリ認メ差出スヘシ

表 富山縣内務部第二課 御 中

入札書在中 書 留

裏

何府縣何郡市何町村大字何々何番地
氏 名

一 工事用物件供給入札モ本書式ニ準ス

(第二號書式)

證明願

拙者今般富山縣ニ於テ執行ニ係ル競争入札ニ加リ度候間明治三十五年同縣告示第二十八號工事請負規則第四條ノ納税額ハ金何圓ニシテ且其他ノ資格ヲ有シ並ニ同第五條ニ抵觸セサル旨御證明被成下度此段奉願候也

何府縣市何町村大字何々何番地

氏 名 ①

年 月 日

市町村長宛

前書申出之趣相違無之候也

何府縣何郡市何町村長 氏 名 ②

備考

一 郵便入札ニ依ルトキハ左ノ雜形ニヨリ認め差出スヘシ

表

富山縣内務部第二課御中
入札資格證明書在中
入札書留

裏

何府縣何郡市何町村大字何々何番地
氏 名

(第三號書式)

一 保證人證明モ本書式ニ準ス

工事請負人資格證明書

一 何年何月中何所何工事ヲ金何程ニテ請負竣工ス

一 何年何月中何所何々工事ニ從事ス

一 何々

何府縣何郡市何町村大字何々何番地 氏 名 ③

年 月 日

右之通相違無之候也

右證明ス日

年月日

(官職名其他總テ肩書ヲ要ス)

氏名

(第四號書式)

入札保證金納付書

第何號何々ニ對スル分

一金何圓

内

金何圓

何銀行預リ金券 第何號 何枚

金何圓

何公債 證 書 第何號 何番 何枚

金何圓

何銀行 株 券 何枚

金何圓

何會社 株 券 何枚

金何圓

何銀行又ハ何會社々借券 何枚

右納付候也

何府縣何郡市何町村大字何々何番地

年月日

入札人 氏名

縣出納吏宛

備考

一 契約保證金納付書モ本書式ニ準ス

(第五號甲書式)

質權設定證書

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

一何種公債證書

(何々)

(保證金代納物件ノ價格請
負規則ノ定ムル所ニヨル)

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

記番號
此額面金何圓也

右ハ拙者所有ノ公債證書(何々)ニ有之候處富山縣工事請負規則第何條ニ依リ(何々工事ノ請負)
(何々工事用物件供給)(入札)(契約)保證金何圓ノ代用トシテ質權設定候條同規則ニヨリ公賣ニ付
セラルルモ拙者ニ於テ聊カ故障無之候也

何府縣何郡市何町村大字何町村何番地
請負(供給)人 氏名

(第五號乙書式)

質權設定證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書

一何種公債證書 (何々)

記番號 此額面金何圓也

此價格金何圓也

此價格合計金何圓也

右ハ何某所有(肩書記名者所有)ノ公債證書(何々)ニ有之候處富山縣工事請負規則第何條ニ依リ(何々)工事請負(何々)工事用物件ノ供給(入札)(契約)保證金何圓ノ代用トシテ所有主ノ承諾ヲ得テ質權設定候條同規則ニ依リ公賣ニ付セラルルモ所有主及拙者ニ於テ聊カ故障無之候也

年月日

何府縣何郡市何町村大字何町村何番地

名

右承諾候也

年月日

何府縣何郡市何町村大字何町村何番地

名

所有主 氏

名

知事宛

(第六號書式)

(美濃紙)

契約書

何所

一何々工事別紙仕様書ノ通

此請負金何圓

右工事前書金額ヲ以テ何之誰請負タルニヨリ富山縣知事何ノ誰ト請負人何ノ誰トノ間ニ契約スルコト左ノ如シ

第廿六條

第廿二條

請負人ハ明治何年何月何日ヨリ工事ニ着手シ同何年何月何日マテニ仕譯書ノ通り竣工スル者トス

請負人ハ本契約ノ履行ヲ保證スル爲メ左ノ保證物件ヲ提供シ富山縣知事ハ本契約ノ終局マテ之ヲ留置スルモノトス

一何々 枚
一何々 枚

第三條

請負人及保證人ハ明治三十五年富山縣告示第二十八號工事請負規則ノ各條ヲ遵守スルモノトス
右契約締結テ證スル爲メ此證書二本ヲ作り各自捺印シ一本ハ富山縣知事一本ハ請負人ニ於テ保有スルモノ也

年月日

何府縣何郡市何町村大字何々何番地

名

請負人 氏

名

保證人 氏

名

富山縣知事 氏

名

備考 一 工費用物件供給契約書モ本書式ニ準ス

(第七號書式)

印紙

變更請書

(美濃紙)

一何々々工事

明治何年何月何日締結ノ前記工事請負契約書中左ノ通變更スルモノトス

一別冊工事變更仕様書ノ通り竣功スルモノトス

一請負金額ヲ前契約額ニ對シ増(減)額スルモノトス

金何程

一請負金増加額百分ノ十以上ニ相當スル左記契記保證金ヲ追納スルモノトス

何々 第何號 何枚

一明治何年何月何日迄ニ竣功スルモノトス

(竣功期限ノ變更ヲ要スルトキニ限り此項ヲ加フルモノトス)

右御請仕候也

何府縣何郡市何町村大字何々何番地

年 月 日 請負人 氏 名 ①

同 保證人 氏 名 ②

知事 宛 同 請負金額 氏 名 ③

(第八號書式)

物件入形帳

請負人 氏 名 ①

何所何々工事

請負金額 氏 名 ②

一金何程

月 日	品 目	數 量	監督員認印	主任認印	摘 要

(第九號書式)

工事工程表

受負人 氏 名 ①

何所何々工事

何年何月何日 竣着手
何年何月何日 竣工

月 日	品 目	數 量	量 摘	要

(第十號書式)

工事竣功届

何所何々工事

明治何年何月何日 竣手
明治何年何月何日 竣功

右明治何年何月何日請負ノ處契約ノ通竣工候間物件入形帳相添此段及御届候也

何府(縣)何郡(市)何町(村)大字何町(村)何番地 請負人 氏 名 ①

備考

- 一 工費用物件供給届モ本書式ニ準ス
- 一 出来形帳ハ契約金額仕書ニ做ヒ調製スヘシ

(第十一號書式)

請求書

一金 何程

何府縣何郡市何町村大字何々何番地
請負人 氏 名

但何々工事何年何月何日請負契約ノ分(請負金何程ノ内何々ノ事故ニヨリ金何程扣除シタル殘額)何年何月何日竣工検査済

(又ハ)

但何々工事何年何月何日請負契約ノ分請負金何程ノ内一時出来形金何程ノ何分ニ當ル仮渡金何年何月何日檢定済

備考

- 一 工費用物件供給金請求書モ本書式ニ準ス

(第十二號書式)

契約保證金請求書

一金 何程

何府縣何郡市何町村大字何町村何番地
請負人 氏 名

但何々工事明治何年何月何日納付契約保證金明治何年何月何日竣功検査済

内譯

金 何程

何々銀行預リ金券 第何號
何公債證書額面何則第何號

何枚

三十五年二月二十一日

金 何程

何銀行株券 第何號
何會社株券 第何號
何銀行何會社々債券 第何號

何枚

●富山縣告示第二十九號

明治三十五年二月十四日

明治三十五年二月二十八號告示第二十八號工費用規則ニ據リ執行ノ入札ニ干與セントスル者ニシテ從來當廳ノ工費用又ハ工費用物件ノ供給ヲ爲シタルモノト雖モ其契約明治三十二年八月十二日以前ニ係ルモノハ當廳ヨリ交付シタル契約書ノ副本ヲ添付シ同則施行ノ前日マテニ届出承認ヲ受ケルニ非ラサレハ同則第七條第三項ノ手續ヲ要スルモノトス

●富山縣告示第三十四號

明治三十五年二月二十一日

明治三十五年二月二十八號告示第二十八號工費用規則第八條及第十四條ノ保證金納付方左ノ通心得ヘシ
一 工費用入札保證金及契約保證金納入セントスル者ハ縣金庫ニ就キ納付書用紙ノ交付ヲ受ケ之ニ金額住所氏名等ヲ記入シ調印ノ上現金ヲ添ヘ拂込ニ保管證書ヲ得テ縣出納吏ヘ提出シ其領收證書ヲ受ケヘシ
一 縣金庫ハ左ノ様式ノ納付書用紙ヲ備置キ請求アルトキハ之ヲ交付スヘシ
一 縣金庫ニ於テ保證金ノ納付ヲ受ケタルトキハ保管ノ手續ヲナシ納付書ハ切離シテ留置キ保管證書ハ納入ニ交付スヘシ
一 縣金庫ニ於テ前項保管金拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ保管證書ニ縣出納吏ノ檢印アルモノニ限リ保管證書引換ニ之ヲ拂渡スヘシ
一 縣金庫ハ適宜帳簿ヲ備ヘ保管金ノ出納ヲ登記スヘシ

五 寸

納 付 書

一金何圓

但工事請負人札(契約)保證金

右納入候也

住所 何ノ某印

年月日 富山縣金庫

印割

保 管 證 書

住所 何ノ某印

一金何圓

但工事請負人札(契約)保證金

右保管候也

年月日 富山縣金庫印

富 山 縣

長三十三

長三十三

105

●富山縣廳達第五十號

明治三十五年十二月一日

内務部第二課 同 第五課

土木出張所

直營工事施行規程左ノ通相定ム

直營工事施行規程

- 第一條 直營工事ハ土木出張所主任若ハ特ニ指命シタル主任ヲシテ施行セシム
- 第二條 直營工事ニ使用スル材料ノ購入職工人夫ノ雇人ハ工事施行規程及工事請負規則ニヨリ材料ノ借入ハ縣會計規則ニヨリ特定ノ者ト契約(書式)第一號)シテ供給セシムルヲ定例トス
- 第三條 主任(土木出張所主任若ハ特命ヲ受ケタル主任以下皆同シ)ニ於テ職工人夫ノ直接雇入ヲ必要トスルトキハ豫メ知事ノ決裁ヲ受クルモノトス
- 第四條 多人數ノ職工人夫ヲ使役スルトキハ一日ノ出役人數若干名毎ニ一人ノ供給人ヲ定メ供給セシムルコトヲ得
- 第五條 職工人夫ノ賃金並ニ使役ノ順序ハ左ノ各項ニ據ルモノトス
 - 一 直接雇入ヲ爲ス場合ハ豫メ希望者ヲシテ申込(書式)第二號)ヲ爲サシメ所轄市役所町村役場ニ就キ調査シ必要ノ都度雇入ル、若トス但市役所町村役場ノ證明アル者ハ此ノ限りニアラス

第五類 道路

一七一

- 二 出役表ハ(書式第二號)正副二本ヲ作成シ正本ハ職工人夫ノ供給人又ハ直接雇入ノ職工人夫ニ交附シ副本ハ主任領置シ出役ノ際正本ヲ提出セシメ之ヲ引替ニ證票(書式第四號)ヲ交附シ出役中各自ヲシテ必ス携帯セシムルモノトス
- 三 前項證票交付ノ手續ハ始業時刻十五分前ニ爲サシムルモノトス
- 四 職工人夫終業ノ際ハ直接雇入ノ者ハ本人ヨリ供給契約ニ係ル者ハ供給人ヨリ證票ヲ返納セシメ主任若ハ監督員ニ於テ出役表正副二本ニ當日ノ出役人員(供給契約ニ係ル分)及出役歩合ヲ記入捺印シ正本ハ即時ニ之ヲ交付スヘシ
- 五 勞働(休憩ヲ含ム)時間
十時間乃至十二時間ノ範圍ニ於テ主任之ヲ豫定シ知事ノ決裁ヲ得ルモノトス
- 六 勞働時間ニ滿タサル者又ハ其時間外ニ涉ル者ハ當日勞働時間ノ割合ニヨリ歩合ノ増減ヲ爲スモノトス
- 七 職工人夫ノ通常受クヘキ歩合左ノ通り
但シ各自ノ技倆又ハ勤惰ニヨリ其歩合ヲ増減スルコトヲ得ルモ歩増ハ五歩以上ニ涉ルコトヲ得ス
男一人一日 一人
女一人一日 六分
- 八 成蹟ノ見易キ勞働ニ使役シタル職工人夫ハ其成蹟ニ適應シ相當ノ歩合ヲ定ムルコトヲ得
- 九 職工人夫トモ一人當リ賃金ハ當廳内定價格ニ據ルモノトス
- 十 縣設備ノ小屋ニ宿泊セシメタルトキハ前項ノ賃金若ハ出役歩合ヲ減スルコトアルヘシ

- 十一 職工人夫就業中無斷退場(如何ナル場合ヲ問ハス)シタル者ハ當日ノ賃金ヲ支給セサルモノトス
- 十二 前各項中職工人夫ノ心得ヘキ要件ハ工場内適宜ノ箇所ニ揭示(書式第五號)スルモノトス
- 第六條 規程ニヨリ隨意契約ヲナシ得ヘキ材料ニシテ實地ニ於テ購入又ハ借入ヲ便宜トスルトキハ主任ニ於テ當業者二名以上ノ見積書ヲ徵シ(二名ナキトキハ一名ヨリ徵シ理由ヲ附記スルコト)知事ノ決裁(書式第六號)ヲ受ケ請書(書式第七、八號)ヲ徵シ提出スルモノトス但一廉拾圓未滿ノモノニシテ決裁ヲ受クル暇ナキトキハ當廳豫定價格内ノ最低者ヨリ供給セシメ即時事由ヲ附シ上申(書式第六號)スルモノトス
- 第七條 供給人ヨリ材料ノ納付ヲ爲ストキハ主任ニ於テ供給人立會ノ上検査ヲ爲シ合格ノ物ニ限リ之ヲ領受スヘシ但時宜ニヨリ検査員ヲ特命シテ検査セシムルコトアルヘシ
- 第八條 主任ハ起工ト同時ニ工事日程ヲ定メ本廳ニ申報スヘシ
工事着手後工事日程ト甚シキ減差ヲ生シタルトキハ即時其事由ヲ上申スヘシ
- 第九條 主任ニ於テ監督小屋職工人夫小屋等ノ設備ヲ必要トスルトキハ知事ノ決裁ヲ得テ建設又ハ借上ヲナスヘシ
- 第十條 主任若ハ工場掛員ハ日々始業時刻二十分前ニ必ス工場ニ出場職工人夫ヲ點檢シ適當ト認メタル上ハ職工人夫出面簿(書式第九號)ニ相當記入スヘシ

前項點檢ノ際供給契約ニ對照シ不合格ノ者アルトキハ之ヲ差省キ供給人ニ之ヲ告知スヘシ

第十一條 金員ノ請求ハ債權者ヨリ請求書(書式第一號)ヲ徵シ主任調査檢印スルモノトス

第十二條 主任若ハ工場掛員ハ絶エス職工人夫ノ勤惰及作業ニ注意シ遵守スヘキ事項ヲ遵守セサルトキハ主任ニ於テ工事竣功マテ備役ヲ禁スルコトヲ得

第十三條 主任ハ左記簿冊ヲ設ケ事務ノ整理及工場掛員ノ勤惰ヲ調査監督スヘシ

- 一 材料受拂簿 (書式二號)
- 一 日誌 (同 一三號)
- 一 豫算整理簿 (同 一四號)
- 一 工事毎日常積表 (同 一五號)
- 一 吏員出勤簿

第十四條 工事竣功シタルトキハ主任ヨリ竣功報告書ヲ提出シ知事ノ認定ヲ受クヘシ

竣功報告書ニハ工事出來形精算書并ニ前條ノ諸帳簿ヲ添付スルヲ要ス

第十五條 本規程ニ明又ナキモノハ總テ一般工事施行ノ例規ニ據ルモノトス

(書式第一號)

附錄 職工(人夫)供給請書

富山縣ノ執行ニ係ル何川筋堤防修繕工事ニ使用ス職工(人夫)供給ニ關シ契約スルコト左ノ如シ

第一條 供給人ハ請書提出ノ日ヨリ富山縣主務吏員ノ指示スル員數ノ職工人夫ヲ指定ノ場所及日時ニ出役セシムルモノトス

第二條 職工(人夫)ハ身體強壯ナル者ニシテ毎壹名通常労働時間ニ對シ受クヘキ歩合賃金左ノ如シ但縣設備ノ小屋ニ宿泊スルトキハ富山縣主務吏員ノ見込ヲ以テ其日ノ出役歩合若ハ賃金ノ幾部ヲ減スルモノトス

通常受クヘキ歩合

男一人一日 一人

女一人一日 六分

賃金

職工

大工 一人歩 金四拾五錢

木挽 一人歩 金五拾錢

石工 一人歩 金五拾錢

丸工羽取工 一人歩 金參拾五錢

籠組夫 一人歩 金四拾錢

人夫 一人歩 金參拾錢

第三條 職工(人夫)登名ノ歩合ハ前條ノ通り定ムト雖モ富山縣ノ都合ニヨリ職工(人夫)ノ勞働ニ應シ富山縣主務吏員ノ見込ヲ以テ其歩合ヲ増減スルコトアルヘシ

第四條 供給人ハ毎日供給スヘキ職工(人夫)ノ適否ニ付始業時限十五分前ニ點檢ヲ受ケ適當ト認メタル者ニ對シ出役表ヲ提出シ人數ニ相當ノ證書ヲ受クヘシ但證書ハ出役中必ス各自ニ携帶スルモノトス

第五條 職工(人夫)一日ノ通常勞働時間ハ何時間ニシテ必要ノ場合之ヲ増減スルコトアルモ異議ヲ申立ルコトヲ得サルモノトス

第六條 前條ノ時間内ニ勞働ヲ中止シ又ハ時間外ニ勞働セシメタルトキハ富山縣主務吏員ノ見込ヲ以テ其歩合ヲ増減スルモノトス

第七條 富山縣ノ都合ニヨリ豫メ指示シタル人夫ノ員數ヲ其日時ニ至リ使役セサルコトアルモ供給人ニ於テ異議申立サルモノトス

但本條ニ依リ供給人ニ於テ損害ヲ受クルコトアルモ賠償ヲ求メサルモノトス

第八條 供給人ハ終業時限后出役人數ノ點檢ヲ受ケ證書ヲ返納シ之ヲ引替ニ出役表ニ當日出役人員及其歩合ノ記入並ニ檢印ヲ受ケ供給濟ノ證據トナスモノトス

第九條 供給人ハ始業職工(人夫)ノ出役場ニ出頭シテ本契約ノ專項ヲ處辨スヘシ

但供給人事故アルトキハ豫メ富山縣主務吏員ノ承認ヲ得タル者ヲ以テ代理セシムルコトヲ得

第十條 供給人ハ代理人又ハ供給シタル職工(人夫)ノ行爲ニ付一切ノ責ニ任スヘシ

前項記載ノ者ニテ富山縣主務吏員ヨリ出役ヲ禁セラレタル者アルトキハ供給人其原因ノ何タルヲ問ハス之ヲ拒ムコトヲ得サルモノトス

第十一條 供給人ハ毎月十五日及末日ノ兩度ニ供給濟ノ職工(人夫)ヲ計算シ其賃金ヲ請求スヘキモノトス

但請求書ニハ出役表ノ添付ヲ要ス

第十二條 供給人本契約ニ違背シ若ハ違背スルノ虞アリト認ムルトキハ直チニ供給ヲ差止メ爾後工場ニ出入スルヲ得サルモノトス

第十三條 出役表請求書ハ富山縣ヨリ交付スル用紙ニ據ルモノトス

右堅ク遵守シ供給可仕候也

年 月 日 何府何郡何町村大字何村何番地 供給人 氏 名 印

富山縣知事宛

右供給人ノ住所氏名印鑑相違無之候也 市町村長 氏 名 印

(書式第二號)

申込書

調査



何府何郡市何町村大字何町村何番地
氏名

何々何年何月何日生

右何川筋堤防工事用職工(人夫)ニ御雇上被下候上ハ御指揮ニ從フヘキハ勿論賃金ハ御見込ニヨリ御指定被成下度候也

右氏名

名印

何川筋大字何々村堤防工事主任

富山縣屬何之某殿
富山縣 何之某殿
富山縣 何之某殿

第何號

何月自何日 何月至何日 人夫出役表

何府何郡市何町村大字何町村何番地
何々何年何月何日生

一日賃金 錢 氏名

出役日	(一日)	(二日)	(三日)	(四日)	(五日)	(六日)	(七日)	(八日)	(九日)	(十日)	(十一日)	(十二日)	(十三日)	(十四日)	(十五日)	(計)
出役人數及使用者檢印	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

印契

工(人) 夫出役 表正副 兩本ノ 契印

事由																
分増ハ																
分増ハ																
役勤																

前記之通り使用セシコト相違無之候也

右使用者

官職 氏名 印

備考

- 一 出役表ハ一ヶ月分チ前(十五日以前)後(十六日以後)ニ兩分シ本様式ニ倣ヒ調製スヘシ
- 一 出役表ハ正本ト副本トニ式ノ如ク契印ヲ施スヘシ

何月自何日 何月至何日 人夫出役表

何縣何郡(市)何町(村)大字何町(村)何番地
(職工) 供給人 氏名

出役日	一日	二日														
一日賃金	參拾錢ノモノ															
出役人員	八	二十	三十													
同上歩合	九人	三十	三十六	四十六												
事由																
夜勤ノ爲	メ	二	歩	増												
計																

但御座ノ都合ニ依リ前項期間ニ長短アルモ料金ハ増減ナキモノトス
 貸付期間満了ノ時ニ拂渡ヲ受クルモノトス
 一 如何ナル事故アルモ御座ノ承諾ナキニ於テ貸付ヲ拒ムコトナキモノトス
 右請書提出候也

年 月 日
 富山縣知事 殿

何府何町大字何町村何番地
 何縣何村
 貸付人 氏 名

出 面 簿
 (書式第九號)

番號	月日又ハ種類	氏名又ハ札數	歩合	摘	要
一	何 月 何 日	(職 工)			
二		羽 氏 名	一、五		
三		石	一、二		
計			三		
		羽	一		

計	何 月 何 日	(供 給)	石	大
一	出 二〇 出 二〇 退 二〇 出 一〇		三三	二八
二				
三				
計			三三	二八
一	何 月 何 日	(人 夫)	氏 名	
二				

備 考
 本簿ハ職工、人夫、(供給ノ場合)直接雇入共各別ニ記載ヲ要ス
 (書式第十號)

金高五圓以上ノモノニ限リ領收ノ際式ノ如ク印紙ヲ貼用シ契印スヘシ
 貳錢 請 求 書

小計	何月何日	何々ニ使用	何十何本	何本
小計	何月何日	何某納	何本	何本
計			何百何十本	

一 本簿設計書ニ示セル材料ノ種類毎ニ口座ヲ設ケ記載スルモノトス
 (書式第十三號)

日誌

- 何月何日(晴雨)(風向、風力、水位、)
- (二日以内ニ著シキ變化アル場合ニハ時間ヲ附記スルコト)
- 一 工事全部ノ成功歩合
 - 一 工事日程トノ増減
 - 一 巡視員氏名
 - 一 供給人又ハ夫工夫ノ申立アルトキハ其概要
 - 一 其他一切ノ事項
- (書式第十四號)

豫算整理簿

(△印ハ赤字)

月日	摘要	豫算額	仕拂確定額	差引現在額	備考
何月何日	通	一、〇〇〇、〇〇〇		一、〇〇〇、〇〇〇	
同	何某供給契約ニ對スル分		五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五百圓ヲ三百圓ト變更
何月何日	何某供給契約變更ニ付受入		△二〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇	
同	何某供給追加契約ニ對スル分		二〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	
何月何日	豫算増加	一、〇〇〇、〇〇〇		一、〇〇〇、〇〇〇	
同	豫算減額	△五〇〇、〇〇〇		一、〇〇〇、〇〇〇	
何月何日	何某供給		一〇〇、〇〇〇	九九〇、〇〇〇	
同	何某外何百何十人直接雇入		一〇〇、〇〇〇	八九〇、〇〇〇	

一 本簿ハ設計總額及設計書ニ示セル材料ノ每種類(大工、木挽、左官、石工、籠組人夫、人夫等)ニ口座ヲ設ケ記載スヘシ

(書式第十五號)

工事毎日常績表 (毎日物件入形帳ニ代フルモノ)

月 日	設計數量	出來形數量	未成數量	摘 要
(盛 土)	一、〇〇 <small>坪</small>			
一月一日		一〇 <small>坪</small>	九九〇	人夫何百何十人使用
一月二日		二〇	九七〇	
(徑何尺 蛇籠中詰)	一〇〇 <small>本</small> 五			
二月五日		一 <small>本</small> 二	九九 <small>三</small>	人夫何十何人使用
(何々川入)	四組			
二月五日		一、	三	人夫何十何人使用

備 考

一 種類毎ニ口座ヲ設ケ差引ヲ爲スモノトス

● 河 川

● 富山縣令第十五號

明治三十五年二月二十八日

河川法第十三條ニ依ル河川ニ關スル工事請負ノ制限ハ明治三十五年二月二十八號工事請

三十六年四月
三十三號第三
改正

負規則ヲ準用ス

● 富山縣令第二十四號

明治三十五年四月四日

河川法第十九條ニ依ル河川ノ土石採取規程左ノ通相定ム

土 石 採 取 規 程

第一條 本規程ニ於テ土石ト稱スルハ砂礫ヲ包含ス

第二條 河川法ニ依ル河川敷地ニ於テ土石ヲ採取セントスル者ハ別紙書式(圖面添附)ニ準シ當廳ニ出願スヘシ

縣事業ニ依リ採取セシムルトキハ別ニ指命スル所ニ從フヘキモノトス

第三條 採取ノ出願ニシテ拾五間以上堤塘ヲ距離シ水理及其他ノ支障ナキト認ムルトキハ之ヲ許可シ其ノ徵收スヘキ料金ノ標準ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 羽取石立管坪ニ付金貳拾錢以上
- 一 栗石立管坪ニ付金八錢以上
- 一 土砂礫立管坪ニ付金貳錢以上

第四條 採取料金ハ當廳ヨリ交付スル告知書ニ依リ之ヲ納付スヘシ

第五條 採取ニ從事スル者ハ總テ鑑札ヲ携帯スヘシ

鑑札ハ管區土木出張所ニ就キ貸付ヲ受クヘシ鑑札ハ採取ノ終了若ハ期間満了又ハ第八條第九條ノ處分ニ依リ不用トナリタルトキハ其翌日限リ返納スヘシ

第六條 採取土石ノ運搬ニシテ船車ヲ用フルトキハ其船車ニ標旗ヲ掲グヘシ

縣事業用ナルトキ運搬ノ標旗ハ紅白旗(長一尺五寸巾一尺)トシ其標旗ハ管區土木出張所ノ認印ヲ受クル

ニアラサレハ使用スルコトヲ得ス但其用ヲ終リタルトキハ翌日限リ消印ヲ受クヘシ

縣事業用以外ナルトキ運搬ノ標旗ハ白旗(長一尺五寸巾一尺)トシ許可番號ヲ明記スヘシ

第七條 採取許可ノ區域ニ目標ヲ要スルトキハ採取免許人ノ費用ヲ以テ之ヲ施設ヲ命スル者トス

第八條 採取ニ依リ危害ヲ生シ若ハ生スルノ虞アルトキ又ハ縣事業ニ依リ必要アルトキハ許可ノ効力ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ區域ノ變換ヲ命スルコトアルヘシ

第九條 採取免許人ニシテ本令ノ條項ニ違背シタルトキハ其許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十條 許可ノ期間内採取免許人自ラ採取ヲ廢シ又ハ第八條第九條ニ依リ處分シタルトキ其他豫

定ノ數量ヲ採取シ得サルコトアルモ料金ノ納額ハ減却スルコトナシ

第十一條 天災事變ニ依リ許可ノ期間内豫定ノ數量ヲ採取スル能ハサルコトヲ認ムルトキハ特ニ

延期スルコトアルヘシ

第十二條 許可ヲ得スシテ土石ヲ採取シタル者ハ拘留若クハ科料ニ處ス

許可ノ範圍ヲ超越シタル者亦同シ

第十三條 採取ヲ了リタルトキハ掘鑿及盛上ヨリ生スル地盤ノ凹凸ヲ平均スヘシ

附 則

第十四條 採取免許人ハ雇人ノ行爲タリトノ理由ヲ以テ其責ヲ免カルコトヲ得ス

第十五條 郡、市、町、村、又ハ組合ニ於テ公共事業ニ要スル爲メ採取ヲ許可シタル場合ハ第三

條ノ料金ヲ免除スルコトアルヘシ

第十六條 第二條ノ願書ハ正副貳通トシ地元市役所町村役場及管區土木出張所ヲ經由スヘシ

第十七條 本規程ハ明治三十五年四月五日ヨリ施行ス但其施行以前ノ許可ニ係リ仍ホ效力アルモ

ノハ本規程ニ從フヘシ

(書 式)

土石採取願

位置 何川筋何市何町何大字何々字何々地先

面積 何坪 長何間 巾何間

品種 羽取石(栗石、土、砂、礫)

數量 立何坪

期間 自明治何年何月何日 至全何年何月何日 日數何日間

用途 何々
料金 何程(無料)

右採取御許可被成下度明治三十五年富山縣令第二十四號ニ基キ圖面相添此段奉願候也

年 月 日

住所

氏

名印

富山縣知事宛

●富山縣令第三十號

明治三十五年四月七日

河川法第二十三條第三項ニ依リ洪水急防準備ニ關スル規程左ノ通相定ム

洪水急防準備ニ關スル規程

- 第一條 水害豫防組合ハ平時ニ於テ本令ノ規定ニ依リ急防準備ヲナスヘシ
- 第二條 急防ニ關シ組合ニ設備スヘキ材料器具及等級區域ハ別表ニ依ル
- 第三條 前條ノ材料ハ實地ノ狀況ニ依リ郡長ノ認可ヲ受ケ其品種類數量ヲ伸縮増減スルコトヲ得
- 第四條 第二條ノ材料中石材ハ堤上適宜ノ場所ニ配置シ其他ハ受持堤防附近ニ小屋ヲ建設シ之ヲ貯藏スヘシ但堤防附近ニ材料ヲ貯藏シ得ル建物アルハ郡長ノ認可ヲ受ケ之ヲ代用スルコトヲ得
- 材料中竹木ノ類ニシテ第二條第三條ニ依ル設備數量ノ三分ノ二以内ニ限り受持堤參百間以内ノ

地ニ存植スルモノヲ以テ郡長ノ認可ヲ受ケ貯藏ニ換フルコトヲ得

第五條 第二條ノ材料ハ十分費用ニ堪ヘ得ヘキモノタルヲ要ス若シ不適當ナリト認メタルトキハ何時ニテモ新調又ハ取換ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 常備材料ヲ消費シ又ハ急防用ノ器具ニ毀損ヲ生シタルトキハ三個月以内ニ補充又ハ修繕ヲ施スヘシ

出水期節ニ際スルトキハ郡長ニ於テ前項ノ期間ヲ短縮スルコトアルヘシ

第七條 出水ニ際シ通信ノ用ニ供スル爲メ脚夫三名以上ヲ豫定シ臨時備上ニ應スルノ契約ヲナシ置クヘシ

第八條 出水通報ノ爲メ受持堤防附近ニ出水通報人ヲ置クヘシ

第九條 本令ニ於テ郡長ノ認可スヘキ事項ハ其郡市長ノ管理スルモノニアリテハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

附 則

第十條 既ニ設置シタル水害豫防組合ハ本令發布ノ日ヨリ三個月以内ニ本令發布後設置スル水害豫防組合ハ設置後三個月以内ニ第二條ノ設備ヲ完了スヘシ

縣令第三十號第二條ニ依ル別表

一 材料

(受持堤三百間ニ付)

品目	等級					摘要
	一等	二等	三等	四等	五等	
四間半川倉ヲ構成スヘキ材料	二個					
四間同	二個	二個				
三間半同	一個	二個	二個			
三間同			一個	一個		
二間半同			一個	一個		
徑四尺蛇籠同	三〇本	一六本	一二本	八本		
徑三尺同	上	六本	六本	一本		
明	三〇〇俵	二〇〇俵	一五〇俵	一五〇俵	二〇〇俵	
二子	二〇〇房	二〇〇房	一五〇房	一五〇房	二〇〇房	
麻網徑一寸以上	三筋	三筋	三筋	三筋		マニラ、針金製ノ内ヲ代用スルコトヲ得
杭木 末口十二寸間	三〇本	三〇本	三〇本	三〇本	三〇本	

粗	朮	同	同	同	同	粟	石
長九尺	長十尺	長十尺	長十尺	長十尺	末口三、四寸		
末口二、三寸	末口四、五寸	末口三、四寸					
五〇束	五〇束	三〇束	三〇束	三〇束	二〇束	三五束	三坪
五〇束	五〇束	三〇束	三〇束	三〇束	二五束	三五束	三坪
五〇束	五〇束	三〇束	三〇束	三〇束	二五束	三五束	三坪
五〇束	五〇束	三〇束	三〇束	三〇束	二五束	三五束	三坪
五〇束	五〇束	三〇束	三〇束	三〇束	二五束	三五束	三坪
五〇束	五〇束	三〇束	三〇束	三〇束	二五束	三五束	三坪

二 器具

(受持堤參百間ニ付)

- 一 箕 拾五個
 - 一 篝火燃料 (第一個ニ付大凡) 二貫目
 - 一 高張提灯 二個
 - 一 標旗 (但組合役場名入ノモノ) 一旗
 - 一 標旗 (但同) 上) 一旗
 - 一 小船 二艘
 - 一 大鼓若クハ警鐘
- 但大ナル組合ニ在テハ各町村毎ニ之ヲ備フルヲ要ス

一 等	掛矢川	各二個宛
右等級ヲ適用スヘキ區域明細書		
一 等	庄川	第一區水害豫防組合ヨリ
同	右岸	第五區同
同	左岸	第一區同
二 等	庄川	第六區水害豫防組合ヨリ
同	右岸	第九區同
同	左岸	第四區同
三 等	小矢部川	第六區同
同	右岸	第十二區水害豫防組合
同	左岸	第十區同
五 等	全	上

●富山縣令第五十號

明治三十五年五月三十日

河川法ニ規定シタル事項ヲ準用セシ神通川ニ對シ明治三十二年勅令第四百四號第二條ニ依リ從フヘキ條項ノ外同第三條ニ依リ河川法第七條第九條乃至第十一條第十五條第二十四條第一項第二十條第二十九條乃至第三十二條第三十五條乃至第三十七條第四十八條及ヒ之ニ基ク命令ノ規定ヲ準用ス

●富山縣令第五十一號

明治三十五年五月三十日

河川法ニ規定シタル事項ヲ準用セシ神通川ニ關シ其準用ニ依リ河川法第十七條第十八條ノ許可ヲ

受クヘキ事項ニシテ從前ノ許可ニ係リ施行ノ際仍ホ效力アルモノハ明治三十五年七月三十一日限リ更ニ許可ヲ受クヘシ

但出願手續ハ明治三十四年富山縣令第七十七號河川敷地並ニ流水及ヒ河川附屬物占用規程ニ據ルコトヲ要ス

●富山縣令第八十八號

明治三十五年十一月七日

河川法ニ依ルヘキ河川ノ敷地並ニ流水占用料徵收規程左ノ通相定ム

河川敷地並ニ流水占用料徵收規程

- 第一條 河川法第四十二條ニ依リテ徵收スル河川敷地並ニ流水ノ占用料設定ハ別表ノ標準ニ依ル
- 第二條 料金標準ノ種別ハ占用ノ月數(起終ノ當月)ヲ算入ス 十個月以内ナルトキハ月額ニ依リ以上ノ月數及年數ニ涉ルモノハ年額ニ依ル
- 月額ニ依リ設定シタルモノニシテ月數十個月ヲ超ユ又ハ年額ニ依リ設定シタルモノニシテ月數十個月以内ナルコトアルモ料金ノ標準ハ更改セス
- 第三條 料金ノ算出ニ於テ月額ニアリテハ占用起終ノ當日日數一個月ニ滿タサルコトアルモ全月額ヲ算入シ年額ニアリテハ一年ヲ超ユルモノハ六個月以内ヲ増ス毎二年額ノ半額ヲ算入ス
- 第四條 料金ノ徵收ハ會計年度ノ區分ニ依リ納入告知書ヲ交附シ之ヲ前納セシム

第五條 占用ノ目的ニ依リ第一條ノ標準ニ適實セスト認ムル特種ノ場合アルトキハ別ニ標準ヲ設定スルコトアルヘシ

第六條 同一ノ箇所ニシテ二人以上之ヲ占用セントスル者アルトキハ第一條又ハ第五條ニ依リ設定スヘキ標準以上ニ於テ競争セシメ其最高額ヲ以テ料金ヲ設定スルコトアルヘシ

前項ノ競争ヲ命シタルトキハ占用願人ハ任意ヲ以テ占用料標準ヲ記シタル特定申請書ニ嚴封テ施シ之ヲ提供スヘシ但指定ノ日時内ニ提供セサル者アルハ其出願ヲ取消シタルモノト見做ス

第七條 占用ノ許可ヲ受ケタル後占用人自ラ其占用ヲ廢止シ又ハ法律命令ニ違背シ若ハ許可ノ條件ニ從ハス其他義務ヲ怠リタルニ依リ許可ノ效力ヲ失フコトアルモ料金ヲ減免セス

第八條 河川法第二十條(第壹號第五)ノ處分ニ依リ許可ノ效力ヲ失ヒタル場合ニ限り占用ノ月數若ハ年數ニ應シ其料金ヲ控除シ殘餘アルトキハ之ヲ還附ス

第九條 占用ノ位置又ハ區域變動ノ必要ヲ生シ之ヲ許可ヲ得タルニ依リ料金ノ減額ヲ生スルトキハ之ヲ還附シ不足スルトキハ之ヲ追徴ス

第十條 占用ノ許可ヲ受ケス又ハ詐欺ノ手段ヲ以テ許可ヲ受ケタルニ依リ處罰セラレタルトキハ其占用ニ係ル料金ヲ追徴ス

附 則

第十一條 本規程施行以前ニ定メタル占川料額ハ其效力ヲ失ハス
河川敷地並流水占用料標準表

(甲號) 有工作物河川敷地占用料

區 別	月 額 (面積壹坪當)	年 額 (面積壹坪當)
壹百坪未滿	〇五〇	五〇〇
壹千坪未滿	〇四五	四五〇
壹万坪未滿	〇四〇	四〇〇
壹万坪以上	〇三五	三五〇

(乙號) 無工作物河川敷地占用料

區 別	月 額 (面積壹坪當)	年 額 (面積壹坪當)
壹百坪未滿	〇一〇	一〇〇
壹千坪未滿	〇〇九	〇九〇
壹万坪未滿	〇〇八	〇八〇
壹万坪以上	〇〇七	〇七〇

備考 甲乙兩號表河川敷地ニハ堤防敷地ヲ包含ス
(丙號) 流水占用料

區別	月額 (水面壹坪當)	年額 (水面壹坪當)
壹百坪未滿	〇五〇	五〇〇
壹千坪未滿	〇四五	四五〇
壹万坪未滿	〇四〇	四〇〇
壹万坪以上	〇三五	三五〇

▲富山縣令第八十八號參照

法律第七十一號 河川法 (明治二十九年四月)抄錄

- 第二十條 左ノ場合ニ於テ地方行政廳ハ許可ヲ取消シ若ハ其效力ヲ停止シ若ハ其條件ヲ變更シ又ハ既ニ施設シタル工作物ヲ改築若ハ除却セシメ又ハ原形ノ回復ヲ命ジ又ハ許可セラレタル事項ニ因リテ生スル危害ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲサシムルコトヲ得
- 一 工事施行ノ方法若ハ施行後ニ於ケル管理ノ方法公安ヲ害スルノ虞アルトキ
 - 二 河川ノ狀況ノ變更其他許可ノ後ニ起リタル事實ニ因リ必要ヲ生スルトキ
 - 三 河川ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ許可ヲ與ヘタルモノノ外ニ工事、使用若ハ占用ヲ許可スル爲ニ必要ナルトキ

- 四 此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規程ニ依リ必要ヲ生スルトキ
- 五 法律命令ニ違背シタルトキ
- 六 公益ノ爲メ必要アルトキ

第四十二條 流水ヲ停滯シ若ハ引用スル爲メ工作物ノ施設其他河川ノ使用若ハ占用ヲ許可スルトキハ其管理者使用者若ハ占用者ヨリ使用料若ハ占用料ヲ徵收スルコトヲ得
本條ノ使用料若ハ占用料其他河川ヨリ生スル收入ハ府縣ニ歸ス

●富山縣訓令甲第三十三號

明治三十五年四月四日

内務部 警察部 郡役所
警察署 警察分署 土木出張所

水防委員設置規程水防委員職務規程左ノ通相定ム
水防委員設置規程

第一條 縣費支辨ニ屬スル河川ニシテ洪水ノ防禦ヲ要スルトキ縣知事ハ左ノ職權ヲ委任又ハ臨時代理セシムル爲メ水防委員ヲ設置ス

- 一 河川法ニ依ル河川ニシテ同法第二十三條第一項第二項ニ關スル件
- 一 普通ノ河川ニシテ水利組合條例第五十三條ニ關スル件

第二條 水防委員ハ委員長壹名委員次長壹名委員若干名ヲ以テ組織ス

第三條 委員長ハ内務部長ヲ以テ之ニ充テ委員ノ職務ヲ指揮監督セシム

第四條 委員次長ハ警察部長ヲ以テ之ニ充テ委員長ノ職務ヲ分擔又ハ代理セシム

第五條 委員ハ内務部ニ於テ技師、第二課長、同課員ノ一部、警察部ニ於テ保安課長、同課員ノ一部、並ニ河川ニ關係アル郡長、警察署長、同分署長、土木出張所主任、同副主任ヲ以テ之ニ充テ水上ノ命令ヲナシ及其施行ヲ指揮監督セシム

第六條 水防委員ノ職務規程ハ別ニ定ム

水防委員職務規程

第一條 水防委員ノ職務ハ本規程ニ依ルベシ

第二條 水防委員ハ洪水若ハ其兆アルトキ本廳ニ出發ヲ報告シテ關係河川ニ出張スルコトヲ得但本廳員ノ水防委員ハ此限ニアラス

第三條 水防委員ハ洪水ノ兆アル并出張ノ時機ヲ愆タサル爲メ之ヲ認知ノ方法ヲ豫メ協定スヘシ

第四條 水防委員ハ河川ニ出張スルトキ信號旗ヲ携帯シ各自所在ノ目標ニ供スヘシ信號旗ハ本廳ニ於テ之ヲ定ム

第五條 本廳員ノ水防委員ハ委員長ノ指示スル所ニ依リ出張ノ命ヲ受ケタル河川ヲ擔任スヘシ

第六條 郡長、警察署長、同分署長、土木出張所主任、同副主任ノ水防委員ハ其郡役所、警察署

同分署、土木出張所ノ各所轄ニ關係スル河川ヲ擔任スヘシ

第七條 水防委員ハ其職務ヲ行フニ當リ必要アルトキハ左ノ各務ニ分擔スルコトヲ得

一 現用品ノ徴収

一 夫役ノ集配

一 技術ノ指揮

第八條 水防委員ノ河川ニ出張シタルトキハ減水ニ至ラスシテ擅ニ河川ヲ退却スルヲ得ス

第九條 水防委員ノ疾病又ハ正當ノ事由ニ依リ出務スル能ハサル者ハ其旨本廳ニ報告スヘシ

第十條 水防委員ノ河川ニ出張スル能ハサルトキハ之ヲ他ノ委員ニ通報シ通報ヲ受ケタル委員ハ其職務ヲ兼ヌヘシ

第十一條 水防委員ノ職務ハ水防委員ニ非ラサル者ニ代理セシムルコトヲ得ス

第十二條 左ノ場合アルトキハ本廳ニ報告スヘシ

一 危険ノ虞アルトキ

一 防禦ノ必要ヲ生シタルトキ

一 防禦ノ效果有リタルトキ又ハ無キトキ

一 防禦ノ必要ヲ終リタルトキ

第十三條 水防委員ハ河川法第二十三條又ハ水利組合條例第五十三條ノ處分ニ依リ著シク損害ヲ

受ケタル者アルトキハ其損害ヲ補償スヘキト認ムル物件ノ種類員數及補償金額並ニ補償ヲ受ケ
ヘキ者ノ氏名ヲ精査シ圖書ヲ作り復命スヘシ

第十四條 水防委員ノ出張任務了リタルトキハ水防狀況書ヲ作り前條ノ復命書ト共ニ三日以内
ニ本廳ニ進達スヘシ

第十五條 本規程ニ依リ報告ヲ要スルモノハ電信又ハ脚夫トス

●富山縣訓令甲第三十八號

明治三十五年四月七日

郡市役所 町村役場

水害豫防組合役場

河川急防施行規程左ノ通相定ム

但急防準備ニ關スル從前ノ達訓令ハ廢止ス

河川急防施行規程

第一條 本規程ハ小矢部、庄、井田、神通、常願寺、早月、片貝及黒部ノ各川急防ニ適用スルモノトス

第二條 河川急防ニ付テハ關係官吏吏員ハ晝夜ヲ論セス執務スヘシ

第三條 河川法ヲ施行若クハ準用セラレサル河川ニ於テモ明治三十五年四月本縣令第三十號急防
準備ニ關スル規程ニ準據スヘシ

第四條 急防ニ關シ河川法ヲ施行若クハ準用セラレサル河川ニ於ケル設備スヘキ材料器具及等級
區域ハ別表ニ依ル

但井田川ニ關シテハ其材料ハ郡長ノ認可ヲ受ケ適宜之ヲ定ムヘシ

第五條 水害豫防組合管理者ハ豫メ夫役ニ應シ得ヘキモノノ員數ヲ調査シ第一次ニ應徵スヘキモ
ノト第二次ニ應徵スヘキモノトヲ區別シ置クヘシ但區域小ナル組合ニ在テハ第一次第二次ノ區
別ヲ爲ササルコトヲ得

大ナル組合ニ於テハ出役スヘキ區域ヲ豫定シ置クコトヲ得

第六條 前條ニ依リ夫役應徵員ノ第一次第二次ヲ定メ又ハ出役區域ヲ定ムルトキハ郡長ノ認可ヲ
受クヘシ

第七條 水害豫防組合管理者ハ毎年一月現品賦課ニ應シ得ヘキ材料ヲ調査シ現品賦課豫定表ヲ作
リ其謄本一道宛テ所轄郡役所及土木出張所ヘ報告スヘシ

現品賦課豫定表ニハ品目數量所在及所有者占有者ノ住所氏名ヲ掲グヘシ

第八條 出水ノ兆アルトキハ水害豫防組合管理者ハ左ノ諸向ヘ之ヲ急報シ同時ニ第一次（第一第
別ナキモ）ノ夫役賦課ヲ令スヘシ
一 所轄郡役所

一等		二等				三等	
常願寺川	黒部川	常願寺川	黒部川	早月川	神通川	片貝川	同
左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸
第一區	第三區	第五區	第四區	第一區	第八區	第一區	第三區
上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ
マテ	マテ	マテ	マテ	マテ	マテ	マテ	マテ

●富山縣訓令甲第四十一號

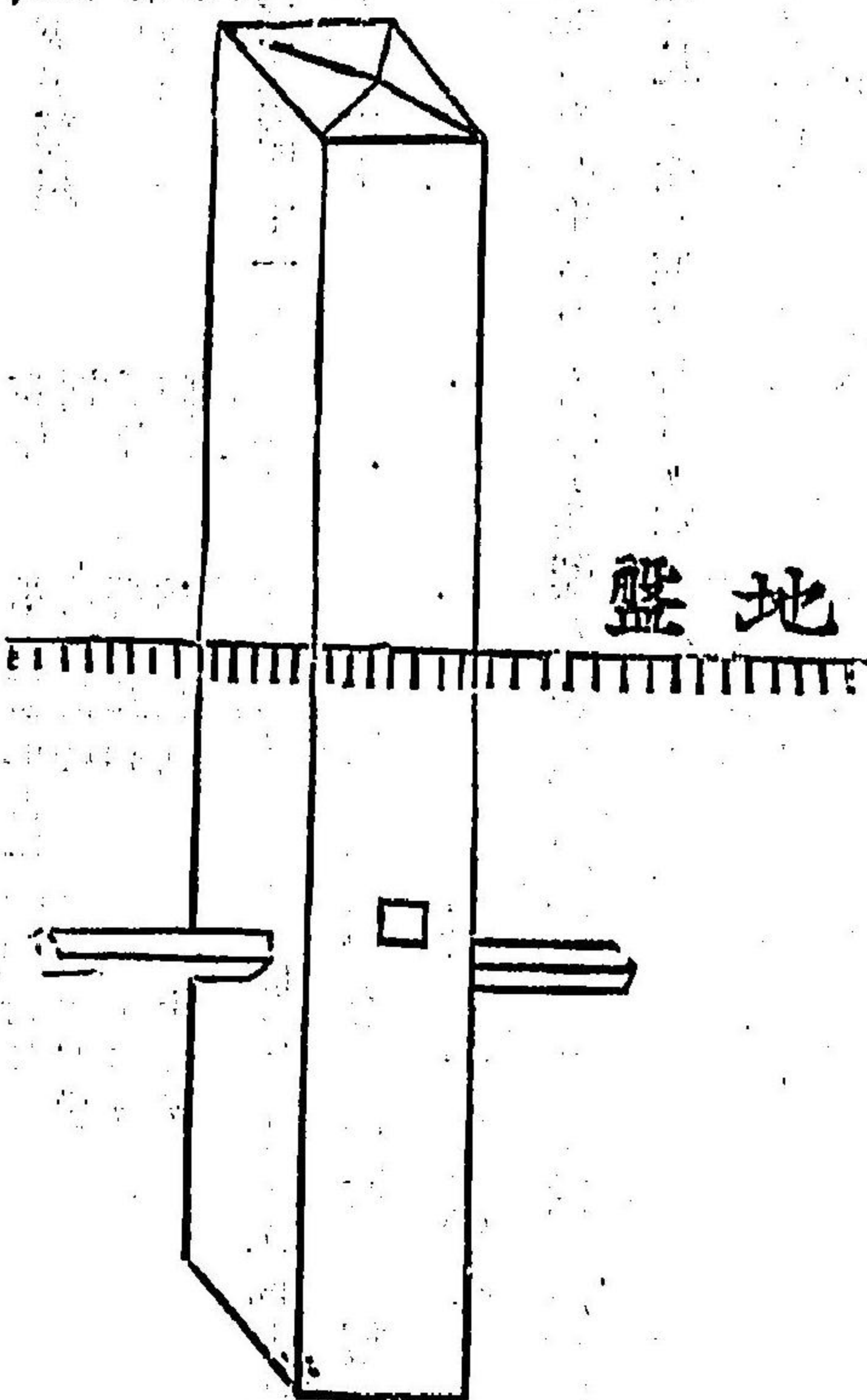
明治三十五年四月十一日

郡市役所 町村役場

水害豫防組合役場

縣費支辨ニ屬スル河川ニシテ洪水防禦ノ受持堤防區域境界ノ位置ニ左ノ通標杭ヲ建設スヘシ其建設スヘキ期日及位置ハ郡市長ヨリ別ニ示達ス

五等		四等				三等	
小矢部川	片貝川	神通川	同	同	同	同	同
左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸
第九區	第三區	第七區	第六區	第八區	第一區	第八區	第一區
上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ	上ヨリ
マテ	マテ	マテ	マテ	マテ	マテ	マテ	マテ



- 一 木質ハ草摺
- 一 地盤上ニ現ハレタル部力ハ赤ペンキ塗トス
- 一 竝ハ長七尺六寸角トシ地盤上四尺地盤下三尺トス
- 一 千鳥横ハ長三尺二寸角トシ其位置ハ地盤下壹尺五寸トス
- 一 流ノ方向ニ係ル杭面ニハ是ヨリ以下長(何間)受持ト墨書スヘシ
- 一 陸ノ方向ニ係ル杭面ニハ役場名ヲ墨書スヘシ

●宮山縣告示第三十九號

明治三十五年三月七日

明治二十九年四月法律第七十一號河川法第十四條及ヒ之レニ基ク命令ノ規程ニ依ル河川臺帳縦覽心得左ノ通相定ム

河川臺帳縦覽心得

- 第一條 河川臺帳ニ利害ノ關係アル者ハ之ヲ縦覽スルコトヲ得
- 第二條 左ノ一ニ該當スルモノト認ムルトキハ縦覽ヲ許サス
 - 一 精神ニ異狀アル者
 - 一 酒氣ヲ帶フル者

前項入場ノ後認知シタル場合ハ退場ヲ命ス

- 第三條 縦覽者ハ入場ノトキ自己ノ住所氏名ヲ縦覽人名簿ニ記載シ當該掛員ノ指揮ニ從フヘシ
- 第四條 縦覽者ハ河川臺帳ヲ汚損スルノ虞アル筆墨及液体ヲ有スル物品携帯スルヲ得ス但鉛筆ハ此限ニアラス

第五條 縦覽者ニ於テ喫烟スルコトヲ得ス

第六條 縦覽者ハ當該掛員ノ許可ヲ得ルニアラサレハ猥褻ニ河川臺帳ニ觸ルルコトヲ得ス

第七條 縦覽者ハ靜肅ヲ旨トシ苟モ喧嘩ニ涉ルノ言動ヲ爲スヘカラス

第八條 當該掛員ノ指揮ニ從ハサル者アルハ之レカ入場ヲ拒絶シ若ハ退場ヲ命スルコトアルヘシ
 第九條 當廳ハ必要ニ由リ縦覽ヲ中止シ若ハ縦覽期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ
 第十條 故意過失ノ別ナク河川葦帳ヲ汚損シタル者アルトキハ之ヨリ生スル損害ハ總テ賠償ノ義務ヲ負擔セシム

第十一條 河川葦帳ノ川名縦覽場ノ位置及ヒ期間時限ハ縦覽開始五日以前ニ於テ之ヲ告示ス

●富山縣告示第八十六號 明治三十五年四月二十五日

小矢部川筋河川葦帳調製區域ニ關シ測量ノ必要アル爲メ明治三十三年勅令第三百號第三條ニ依リ當廳員ヲシテ證票携帯セシメ左記町村内ノ河川附近土地ニ立入り又ハ之ニ標柱ヲ設置スルコトアルヘシ

射水郡 横田村 二上村 掛開發村 能町村 伏木町

高岡市 木町

●富山縣告示第七號 明治三十五年五月三十日

左記ノ河川ニ對シ河川法第五條ニ依リ河川法ニ規定シタル事項ヲ準用スヘキ河川トシ明治三十二年勅令第四百四號第一條ニ依リ之ヲ認定シ但明治三十五年六月一日ヨリ施行ス

神通川

左岸婦負郡細入村大字西笹津村字舟場坂

右岸上新川郡大澤野村大字東笹津村字西平割

(笹津橋)ヨリ下流海ニ至ル迄

▲富山縣告示第七號 參照

河川法法律第七十一號(明治二十九年四月七日)抄錄

第五條 此法律ニ規定シタル事項ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ河川ニ流入シ若ハ河川ヨリ分岐スル水流若ハ水面又ハ第一條ノ認定ヲ受ケサル河川ニ準用スルコトヲ得

河川法第五條ニ依レル命令ノ件 勅令第四百四號(明治三十二年十月)

朕河川法第五條ニ依レル命令ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 河川法ニ規定シタル事項ヲ準用スヘキ水流若ハ水面又ハ河川ハ内務大臣ノ認可ヲ經テ府縣知事之ヲ認定ス府縣知事前項ノ認定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示スヘシ

第二條 前項ノ認定ヲ受ケタル水流若ハ水面又ハ河川ニハ河川法第三條(敷地ヲ除ク)第四條第二項第十二條第十三條第十六條乃至第二十三條第三十四條第三十八條乃至第四十三條第四十五條乃至第四十七條第四十九條第三項第四項第五十二條乃至第六十三條及之ニ基キテ發スル命令ノ規定ヲ準用ス

第三條 前條ニ掲ケタルモノ、外河川法ニ規定シタル事項ハ内務大臣又ハ府縣知事ニ於テ命令ヲ以テ第一條ノ認定ヲ受ケタル水流若ハ水面又ハ河川ニ準用スルコトヲ得但河川法第六條但書第八條第二十四條第二項第二十六條乃至第二十八條及第三十三條ノ規定ハ此限ニアラス

府縣知事ニ於テ前項ニ依リ河川法ノ規定ヲ準用セントスルトキハ内務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

●第六類 國 稅

●富山縣訓令甲第六十六號

明治三十五年六月二十七日

郡 役 所

水害豫防組合役場 (縣費支辨ノ河川水害防禦ニ關係アルモノニ限ル)

町村 役場(同)

上)

本年一月一日現在地租額(水害豫防組合ノ創立中ニ係ルモノハ從來ノ關係町村ノ地租額)左表ニ依リ二通調製シ本年七月五日限リ所轄郡役所へ提出スヘシ郡役所ハ之ヲ取纏メ同月十日限リ所轄土木出張所へ回付スヘシ

但本文括弧内ニ屬スルモノハ組合設立後直ニ本文ニ準シ再製提出スルヲ要ス

(左 表) 三十五年一月一日現在地租額調

(何々々) 役 場

種 目	地 價	地 租		地 租 計
		百分ノ二半	增	
畑				
田				

雜種稅	一料理屋	一待合茶屋	一船遊宿	前三項ノ稅率左ノ如シ	一芝居茶屋	一飲食店	一	二	三	四	五	六	七	八
	七等地	六等地	八等地	七等地	六等地	八等地	七等地	六等地	五等地	四等地	三等地	二等地	一等地	八等地
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	稅	稅	稅	稅	稅	稅	金四圓	金參圓參拾錢	金貳圓六拾錢	金貳圓	金壹圓參拾錢	金壹圓	金壹圓	金壹圓參拾錢

寫眞師	一	二	三	四	五	六	七	八	三	四	五	六	七	八
一等地	二等地	三等地	四等地	五等地	六等地	七等地	八等地	八等地	七等地	六等地	五等地	四等地	三等地	二等地
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅
金六圓	金五圓	金四圓	金參圓四拾錢	金貳圓八拾錢	金貳圓六拾錢	金貳圓四拾錢	金貳圓九拾錢	金壹圓七拾錢	金七拾錢	金六拾五錢	金五拾五錢	金五拾錢	金四拾五錢	金四拾錢

一湯屋	一	等	地	年	稅	金壹圓八拾錢
	二	等	地	同		金壹圓六拾錢
	三	等	地	同		金壹圓四拾五錢
	四	等	地	同		金壹圓參拾錢
	五	等	地	同		金壹圓拾五錢
	六	等	地	同		金壹圓
	七	等	地	同		金八拾錢
	八	等	地	同		金六拾錢
一理髮人(男)	一	等	地	年	稅	金壹圓七拾錢
	二	等	地	同		金壹圓五拾錢
	三	等	地	同		金壹圓參拾錢
	四	等	地	同		金壹圓拾五錢
	五	等	地	同		金壹圓
	六	等	地	同		金九拾錢
	七	等	地	同		金八拾錢
	八	等	地	同		金七拾錢

使役人アル者ハ一人ニ付本稅半額ヲ増課ス
婦女ノ理髮人ハ總テ男理髮人ノ半額トス

一遊藝師匠	一	等	年	稅	金參圓
一遊藝稼人	一	等	年	稅	金貳圓
一相撲	一	等	年	稅	金壹圓
	二	等	年	稅	金參拾錢
一俳優	一	等	年	稅	金壹圓
	二	等	年	稅	金七拾五錢
	三	等	年	稅	金貳拾五錢
一幫間	一	等	月	稅	金壹圓五拾錢
一藝妓	一	等	月	稅	金參圓
中藝妓	一	等	月	稅	金貳圓
少藝妓	一	等	月	稅	金壹圓
一市場	一	等	年	稅	金壹圓

寄席興行所へ出ルモノ
慣習ノ給料定位アルモノ
慣習ノ給料定位ナキモノ及行司
年齢十五年以上ニシテ慣習ノ給料定位アルモノ
年齢十五年以上ニシテ慣習ノ給料定位ナキモノ
年齢十五年以上ノモノ
年齢十三年以上ノモノ
年齢十三年未満ノモノ

一 等 地 月 稅 金 參 圓 參 拾 錢
 二 等 地 同 稅 金 貳 圓 七 拾 錢
 三 等 地 四 等 地 五 等 地
 六 等 地 七 等 地 八 等 地
 同 稅 金 貳 圓 貳 拾 錢

定期並臨時市場
 一 等 地 日 稅 金 四 拾 五 錢
 二 等 地 同 稅 金 參 拾 五 錢
 三 等 地 四 等 地 五 等 地
 六 等 地 七 等 地 八 等 地
 同 稅 金 貳 拾 五 錢

牛 馬 市 日 稅 金 壹 圓

一 演 劇 日 稅 金 壹 圓
 客人一人ニ對スル收得金五錢マテノモノ 同 日 稅 金 五 拾 錢
 同拾錢マテノモノ 同 日 稅 金 壹 圓
 同拾五錢マテノモノ 同 日 稅 金 壹 圓 五 拾 錢
 同貳拾錢マテノモノ 同 日 稅 金 貳 圓
 同參拾錢マテノモノ 同 日 稅 金 參 圓

同參拾錢以上ハ拾錢毎 拾錢未滿ニ金壹圓ヲ増ス
 亦同シ
 收得金ハ木戶錢棧敷料樹料場代敷物料下足料等客人一人ヨリ收得スル最高一人分ヲ通算
 ス棧敷料若クハ樹料ハ一間ノ四分ノ一ヲ以テ一人分トス

一興 行

客人一人ニ對スル收得金 日 稅 金 貳 拾 五 錢
 參錢マテノモノ 同 日 稅 金 四 拾 錢
 同五錢マテノモノ 同 日 稅 金 八 拾 錢
 同拾錢マテノモノ 同 日 稅 金 壹 圓 貳 拾 錢
 同拾五錢マテノモノ 同 日 稅 金 壹 圓 六 拾 錢
 同貳拾錢マテノモノ 同 日 稅 金 壹 圓 六 拾 錢
 同貳拾錢以上ハ拾錢毎 拾錢未滿ニ金八拾錢ヲ増ス
 亦同シ
 收得金ノ計算ハ演劇ニ同シ

一遊 覽 所

客人一人ニ對スル收得金 日 稅 金 貳 拾 錢
 貳錢マテノモノ 同 日 稅 金 貳 拾 五 錢
 同參錢マテノモノ 同 日 稅 金 四 拾 錢
 同五錢マテノモノ 同 日 稅 金 六 拾 錢
 同七錢マテノモノ 同 日 稅 金 八 拾 錢
 同拾錢マテノモノ 同 日 稅 金 八 拾 錢
 同拾錢以上ハ五錢毎 五錢未滿ニ金四拾錢ヲ増ス
 亦同シ
 收得金ノ計算ハ演劇ニ同シ

一入 寄 席 月 稅 金 貳 圓

一遊技場	射的、玉突、揚弓、大弓、投壺扇、吹矢ノ類	年	稅金七圓五拾錢
一日本形船	五十石以上	年	稅金貳圓五拾錢
一西洋形船		年	稅金貳拾圓
一蒸汽船		年	稅金拾五圓
一帆船		年	稅金七拾錢
一船	野漁船、川船及積石五十石未滿海船	年	稅金壹圓
	但三間以上一間ヲ加フル毎ニ金參拾錢ヲ增加ス		
	長自軸梁三間迄八年		
	至軸梁三間迄八年		
一遊船	但三間以上一間ヲ加フル毎ニ金五拾錢ヲ增加ス	年	稅金八圓
一車	馬車二疋立以上	年	稅金六圓
	同 一疋立	年	稅金壹圓五拾錢
	人力車	年	稅金參圓
	荷積牛馬車	年	稅金壹圓參拾錢
	荷車	年	
	水車	年	

一摺	畜	但營業稅法ニ依リ營業稅ヲ納ムル營業ニ使用スルモノハ半減トス	壹頭ニ付	稅金貳拾錢
一牛			壹頭ニ付	稅金壹圓
一馬			壹頭ニ付	稅金壹圓
一猪			壹頭ニ付	稅金壹圓
一豚			壹頭ニ付	稅金壹圓
一漁業			壹頭ニ付	稅金壹圓
一機	關用	但國稅營業稅又ハ縣稅製造稅ヲ納ムル營業ニ使用スルモノハ半減トス	壹個ニ付	稅金參拾六錢
一換	白		壹個ニ付	稅金六拾錢
一機	關用	摺白挽白外ノ諸機械動力ヲ供スルモノ	壹臺ニ付	稅金六圓
		輪徑十五尺以上	同	稅金五圓
		同 十尺以上	同	稅金四圓
		同 六尺以上	同	稅金貳圓五拾錢
		同 六尺未滿	同	稅金壹圓

海	漁	網	壹網ニ付	季稅	金貳拾圓
臺	網	同	同	同	同
秋冬	麻苧臺網	同	同	同	金九圓
秋冬	蘆臺網	同	同	同	金五圓
夏	蘆臺網	同	同	同	金五圓
春	蘆臺網	同	同	同	金五圓
秋冬	麻苧小臺網	同	同	同	金參圓
夏	麻苧小臺網	同	同	同	金貳圓五拾錢
春	麻苧小臺網	同	同	同	金貳圓五拾錢
角	網	壹網ニ付	季稅	金參圓	
秋冬	角網	同	同	同	金參圓
夏	角網	同	同	同	金參圓
春	角網	同	同	同	金參圓
地	曳網	壹網ニ付	稅	金九圓五拾錢	
一	同	同	同	同	金七圓五拾錢
二	同	同	同	同	同

手	操	網	同	金五圓
瀨	曳	網	同	同
卷	網	同	同	同
一	等	網ノ總肩五十尋以上	一網ニ付	稅 金壹圓四拾錢
二	等	五十尋未満	同	稅 金壹圓拾錢
刺	網	同	壹具ニ付(一具トハ各浦ニ定メタル尙龍ヲ云フ)	稅 金壹圓
鯉	網	同	同	同
鯉	網	同	同	同
鯉	網	同	同	同
捕漁	配繩釣	同	一具ニ付(一具トハ各浦ニ定メタル舟一艘ニ裝スヘキ枚數ノ合計ヲ云フ)	稅 金壹圓貳拾錢
雜	漁	同	一漁丁ニ付	稅 金四拾錢
學	釣ノ類	同	一人ニ付	稅 金五拾錢
投	網	同	同	稅 金五拾錢
鯨	豚	同	同	稅 金高千分ノ貳拾

二 等 地	上新川郡 東岩瀬町	下新川郡 魚津町	射水郡 伏木町
三 等 地	中新川郡 滑川町	射水郡 新湊町	水見郡 水見町
四 等 地	中新川郡 上市町	東礪波郡 東水橋町	下新川郡 三日市町
	射水郡 小杉町	東礪波郡 城端町	同 福野町
五 等 地	上新川郡 上瀧町	同 新庄町	中新川郡 五百石町
	射水郡 大門町	東礪波郡 中田町	西礪波郡 戸出町
六 等 地	上新川郡 大久保村	中新川郡 西水橋町	下新川郡 生地町
	西礪波郡 津澤町	同 福田村	同 舟見町
七 等 地	婦負郡 古里村	下新川郡 浦山村	射水郡 海老江村
	東礪波郡 東山見村	同 太田村	西礪波郡 立野村
八 等 地	以上記名市町村ノ外各村		

●富山縣令第四號
 縣會ノ議決ヲ經テ明治三十三年一月一號富山縣令第二號縣稅賦課規則中左ノ通改正ス
 明治三十五年一月二十四日

第三條 但書ナ左ノ通改ム

但地租割ノ外年稅總額貳拾錢未滿ノモノハ二期ニ分子第一期ハ四月一日第二期ハ十月一日現在ニ依リ賦課ス

第七條 但書ヲ削除ス

第八條ニ左ノ但書ヲ加フ

但本條ノ規定ハ前ニ納稅シタル限度ニ於テ適用スルモノトス

第十一條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ挿入ス

日稅中興行稅遊覽所稅並屠畜稅ハ出願ノ際豫定日數若クハ頭數ニ依リ假納セシム

第二十條 地位等級ニ依リ普通課額ヲ定メタルモノノ理髮人ハ其年度四月一日現在營業者ノ數ニ普通課額ヲ乘シ市町村當リノ金額ヲ算定シ其金額ニ基キ四月三十日限り當該市町村會ニ於テ各自ノ等級課額ヲ議定スルモノトス

第二十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

稅額ノ輕重ヲ比較スルハ普通課額ニ依ル

第三十四條 理髮人ノ使役人數ハ前年中最多數ノトキノ計算ニ依ル

但新ニ開業シタル者ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ム

使役人トハ家族傭人男女ノ別ナク又常時ナルト否トヲ問ハス總テ其業ニ従事スル者ヲ云フ

第四十二條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第四十二條ノ乙 解若クハ漁業ニ使用スル船舶ト雖モ其構造普通日本形船舶ト同一ニシテ積石數五十石以上ニ及ブモノハ日本形船舶トシテ課税ス

第四十三條ニ左ノ一項ヲ加フ

物件ニ課税スルモノハ現ニ其物件ヲ使用セスト雖モ使用ス可キ状態ニアルモノハ總テ課税ス

第四十五條第十五號ニ左ノ但書ヲ加フ

但使役人アル理髮人ヲ除ク

第四十五條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四十五條ノ乙 他府縣ヨリ本縣内ニ來リ營業税雜種税ヲ賦課ス可キ營業ノ行商又ハ出稼ヲ爲ス者其所轄官公廳ノ鑑札若クハ納税ノ證ヲ有セサルトキハ此規則ニ依リ課税ス

第四十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一戸ヲ構ヘタルモノト見做シ戸數割ヲ賦課ス

一 戸主ト別居シタル家族此場合ニ在テハ實際家政ヲ掌ル者ヲ以テ納税義務者トス

二 同居同炊スト雖モ經濟ヲ異ニシ獨立ノ生計ヲ營ムノ實アル者

三 官公署、學校若クハ社寺、會社等ノ構内ニ居住シ又ハ旅人宿下宿屋等ニ寄寓シ獨立ノ生計

ヲ營ム者

四 三ヶ月以上本縣内ニ滞在スル者但無資力ノ單身者ニシテ親戚ニ寄食スル者ハ此限ニアラス
第五十條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ戸主家族再ヒ同居シタルトキハ戸主ノ課額ハ已定課額ニ復舊スルモノトス其戸主カ議定標準期日前他府縣内ニ別居シタル者ナルトキハ普通課額ト家族ノ課額トヲ比較シ重キニ從フテ課額ヲ定ム

第五十二條ニ左ノ一號ヲ加フ

二 學校構内若クハ下宿屋等ニ寄宿スル學校生徒但單身戸主ヲ除ク

此改正ハ明治三十五年度所屬ノ縣稅ヨリ施行ス

●富山縣令第五號

明治三十五年一月二十四日

明治三十四年三月富山縣令第二十七號縣稅賦課規則施行細則中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

縣稅賦課規則第四十五條ノ乙ニ該當スル營業者ハ本縣内ニ於テ業務ニ就キタル日ヨリ七日以内ニ營業區域ヲ指定シ前項ノ届出ヲ爲スヘシ

第六條ニ左ノ一項ヲ加フ

縣稅賦課規則第四十五條ノ乙ニ該當スル營業者ニシテ納稅地内ニ定リタル居所ナキモノハ前項ニ準シ納稅代理人ヲ届出ツヘシ

第九條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ業務、物件ト雖モ其特別規程ニ課稅標準ノ異動若クハ納稅義務ノ移轉、消滅ヲ申出ツヘキ規定ナキトキハ其事項ニ付テハ本細則ニ從ヒ所轄郡市役所ヘ届出ヲ爲スヘシ

第十五條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十五條ノ乙 戶數割ヲ免除セラルヘキ學校生徒ハ入寄留其他住所ノ届出ヲ爲スト同時ニ其旨所轄市役所町村役場ヘ届出ツヘシ

前項ノ届書ニハ當該學校長ノ證印ヲ受クルヲ要ス

第十六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十六條ノ乙 縣稅賦課規則第四十五條ノ乙ニ該當スル營業者ノ納稅地ハ營業地市町村トス營業區域數市町村ニ涉ルトキハ營業者ノ指定ニ依ル

第二十二條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但前届出ニ異動ナキトキハ届出ヲ要セス前ニ製造品價格百圓未滿ノ届出ヲ爲シタル者工錢收入ナキモノニシテ本年仍ホ百圓ニ滿タサルモノ亦同シ

第二十四條中「雜種稅中」ノ下ニ「第十六條及第十六條ノ乙ヲ準用スルモノ、外」ノ二十字ヲ加フ

第二十四條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十四條ノ乙 興行稅、遊覽所稅、屠畜稅ヲ納ムヘキ營業ノ免許ヲ出願スル者ハ先ツ相當税金ヲ所轄市役所若クハ町村役場ヘ仮納シ其願書ニ税金仮納ノ證印ヲ受ケタル上警察官署ヘ差出スヘシ

第二十五條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十五條ノ乙 理髮人ハ第一條ノ届出ヲ爲シタル翌年ヨリ毎年二月五日限リ使役人數前年中最多數ノトキノ員數ヲ届出ツヘシ使役人ナキ者ハ同期限内其旨届出ツヘシ但前届出ニ異動ナキトキハ届出ヲ要セス

第二十九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十九條ノ乙 人力車營業者若クハ馬車營業ヲ廢スル者ニシテ仍ホ車輛ヲ保有スルトキハ警察官署ヘ廢業手續ヲ爲スト同時ニ其旨所轄郡市役所ヘ届出ツヘシ

第四十一條中水車營業者ノ下ニ「又ハ紺屋營業者」ノ七字ヲ加フ

第四十八條中第二十二條ノ下ニ「第二十五條ノ乙」ノ七字ヲ第二十九條ノ下ニ「第三十九條ノ乙」ノ七字ヲ加フ

第四十九條中第十九條ノ下ニ「第二十一條」ノ五字ヲ加フ

附 則

本令中第一條及第六條及第四十一條ノ改正并第十六條ノ乙第二十四條ノ乙及第二十五條ノ乙ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

●富山縣令第六號

明治三十五年一月二十四日

明治三十五年度ヨリ新タニ縣稅ノ納稅義務ヲ生スル營業者等届出ニ關スル件左ノ通相定ム

一 在來ノ營業者等ニシテ營業稅雜稅課目課額并縣稅賦課規則改正ノ爲メ明治三十五年度ヨリ新タニ縣稅ノ納稅義務ヲ生スル者ハ縣稅賦課規則施行細則第一條ニ準シ明治三十五年四月五日限リ届出ヲ爲スヘシ

一 明治三十五年三月三十一日以前ニ於テ納稅義務發生ノ届出ヲ生シタル理髮人及機關用水車ノ使用者ハ明治三十五年四月五日限リ左記ノ事項ヲ所轄郡市役所ヘ届出ツヘシ

理髮人ハ使役人數、使役人ナキ者ハ其旨機關用水車使用者ハ其水車ノ輪徑

一 明治三十五年三月三十一日以前ニ於テ湖濱河川池沼等釣ノ類(手釣トモ)ノ漁業免許ヲ受ケタル者ハ明治三十五年四月五日限左ノ區別ニ從ヒ地租若クハ所得稅又ハ營業稅ノ納額ヲ所轄郡市役所ヘ届出ツヘシ納額ナキ者ハ同期日迄ニ其旨届出ツルヲ要ス

三十五年三月三十一日以前ニ於テ

イ 漁業者戸主ナルトキハ自己ノ納稅額
ロ 漁業者家族ナルトキハ自己並戸主ノ納稅額

一 前各項ニ依リ届出ツル課稅標準ハ明治三十五年四月一日現在ニ依ルヘシ但理髮人ノ使役人ハ縣稅賦課規則第三十四條ニ依リ計算スヘシ

一 本令ノ届出ヲ爲サス又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ三日以上十日以下ノ拘留又ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

●富山縣令第十六號

明治三十五年二月二十八日

明治三十三年三月三十一日限
富山縣令第十九號 縣稅徵收期限第一條年稅中第一期ニ左ノ但書ヲ追加ス
但營業稅、雜種稅ハ五月二十日ヨリ同月三十一日限

▲富山縣令第十五號參照

富山縣令第十九號 縣稅徵收期限第一條 (明治三十三年三月)抄錄

一年稅ハ之ヲ四分シ徵收ス

第一期 四月十日ヨリ同月二十三日限

●富山縣令第三十五號

明治三十五年四月十八日

明治三十三年一月一號
富山縣令第二號縣稅賦課規則第十一條第二項縣參事會ノ議決ヲ經テ左ノ通改正ス
日稅 定期市場 及屠畜稅ハ出願若クハ届出ノ際願届書面ノ日數若クハ頭數ニ依リ之ヲ假納セシ

●富山縣令第三十八號

明治三十五年四月十八日

明治三十四年三月富山縣令第二十七號縣稅賦課規則施行細則中左ノ通改正ス

第二十四條ノ乙 縣稅賦課規則第十一條ニ依リ税金ノ假納ヲ爲スヘキモノハ其業務ノ願届ヲ爲ス

際納稅地市役所町村役場ヘ之ヲ納付スヘシ

前項ノ願届ニシテ警察官署ヘ爲スヘキモノナルトキハ其願届書ニ税金假納濟ノ證印ヲ受クヘシ

第四十九條ニ左ノ一項ヲ加フ

納稅義務發生届ト同時ニ爲スヘキ税金ノ假納ヲ爲ササル者亦前項ニ同シ

●富山縣令第六十號

明治三十五年七月二十五日

縣參事會ノ議決ヲ經明治三十三年一月富山縣令第二號縣稅賦課規則第十一條第一項ヲ左ノ通改正シ

同條第二項ヲ削除ス

日稅中定期市場稅外ノモノ及ヒ屠畜稅ハ出願若クハ届出ノ際、定期市場稅ハ各期ノ初日ニ於テ

願届ノ日數若クハ頭數ニ依リ之ヲ前納セシム

此改正ハ明治三十五年八月一日ヨリ實施ス

▲富山縣令第六十號參照

富山縣令第二號 縣稅賦課規則(明治三十五年一月)抄錄

第十一條、日稅及屠畜稅ハ願届ノ日數又ハ個數ニ依リ日稅ハ其初日屠畜稅ハ許可ノ日ヲ以

テ賦課期日トス

日稅定期市場稅及屠畜稅ハ出願若クハ届出ノ際願届書面ノ日數若クハ頭數ニ依リ之ヲ假納セ

シム

●富山縣令第六十一號

明治三十五年七月二十五日

明治三十四年三月富山縣令第二十七號縣稅賦課規則施行細則中左ノ通改正シ本年八月一日ヨリ實施

ス 第二十四條ノ乙第一項中「税金ノ假納ノ爲」トアルヲ「願届ノ際納稅」トシ同條第二項中「假納」トア

ルヲ「納付」ト改ム

第四十九條第二項ヲ削除ス

▲富山縣令第六十一號參照

富山縣令第二十七號 縣稅賦課規則施行細則(明治三十四年三月)抄錄

第二十四條ノ乙 縣稅賦課規則第十一條ニ依リ税金ノ假納ヲ爲スヘキモノハ其業務ノ願

出ヲ爲ス際納稅地市役所町村役場ヘ之ヲ納付スヘシ

前項ノ願届ニシテ警察官署ヘ爲スヘキモノナルトキハ其願届書ニ税金假納濟ノ證印ヲ受

第四十九條(前略) 三日以下ノ拘留又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス
納稅義務發生届ト同時ニ爲スヘキ税金ノ仮納ヲ爲サ、ルモノ亦前項ニ同シ

●富山縣令第六十二號

明治三十五年七月二十五日

明治三十三年五月富山縣令第四十三號縣稅徵收ニ關スル細則中左ノ通改正本年八月一日ヨリ施行ス

第一條 縣稅徵收ノ命令ハ町村ニ屬スルモノ(本條第二項ノ場合ヲ除ク)ハ之ヲ郡長ニ市ニ屬スル
モノハ之ヲ市長ニ委任ス

町村ニ屬スル臨時市場稅、牛馬市稅、演劇稅、興行稅、遊覽所稅、屠畜稅ノ徵收命令ニ限り之ヲ町
村長ニ委任ス

第二條第二項左ノ通改ム

郡長ニ於テ臨時徵收ノ場合ニ限り納稅人ヲシテ税金ヲ直ニ金庫ニ拂込マシムルヲ便利ト認ムル
トキハ直ニ納稅人ニ對シ第三號樣式ノ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

第三條中末項左ノ通改ム

定期市場稅 各期ノ初日
臨時市場稅、牛馬市稅、演劇稅、興行稅、遊覽所稅、屠畜稅 願届テ受理シタル時
隨時徵收ニ係ル諸稅 徵收スヘキ事實ノ生シタル時

第三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三條ノ二 縣稅督促狀ノ指定期限ハ十日以内トス

督促手數料ハ督促狀一通ニ付金拾錢トス

督促狀ハ第五號樣式ニ依リ調製スヘシ

第一號樣式中「何郡(市)長氏名印」ヲ「何郡(市)町村(長氏名印)」ト改ム

第四號樣式通知書中「縣稅徵收命令者宛」ヲ「郡市長宛」ト改ム

(第五號樣式)

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ
横三寸ノモノ

第 號	何郡何市町村大字村何		何番地	某
	何年度	縣	何	
督	何	稅	何	第何期分
促	一金	拾	錢	滯納税金
狀	右何月何日限り何金庫へ	滯納税金ハ何金庫へ督促	手數料ハ當市收入役へ	納付スヘシ
	若シ其ノ期限ヲ過キ完納セサルトキハ直ニ	財產差押ノ處分ヲ	爲スヘシ	
	明治 年 月 日		何郡(市)長氏 名 印	

(備考) 本様式中括弧内ノ文面ハ市ニ於テノ例ナリ

▲富山縣令 第六十二號(參照)

富山縣令第四十三號 縣稅徵收ニ關スル細則(明治三十三年五月)抄録

第一條 縣稅徵收ノ命令ハ町村ニ屬スルモノハ之ヲ郡長ニ市ニ屬スルモノハ之ヲ市長ニ委任ス

第二條 第二項徵收命令者ハ隨時徵收ノ場合ニ限り直ニ納稅人ニ對シ第三號様式ノ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

第三條 中納期限

日稅、厩畜稅、其他隨時徵收ニ係ル

納期以前

●富山縣令第七十八號

明治三十五年十月三日

明治三十三年三月 富山縣令第十九號縣稅徵收期限第一條ノ五其都度郡市長ノ下ニ「及ヒ町村長」ノ

五字ヲ追加ス

▲富山縣令第七十八號參照

富山縣令第十九號 縣稅徵收期限(明治三十三年三月)抄録

第二條ノ五 日稅及ヒ厩畜稅其他隨時徵收ヲ要スル稅ハ其都度郡市長ノ指定スル所ニ依ル

●富山縣訓令甲第五號

明治三十五年一月十日

郡 市 役 所

一定ノ納期アル縣稅收納報告様式左記ノ通り相定メ候條自今納期後五日限り提出スヘシ

縣稅第(何)期(營業稅附加稅前)(后)期收納報告書

稅目	調定額	收入額	未收入額	濟額	對スル收入未合
地租					
地租割					
戶數					
營業稅					
雜種稅					
營業附加稅					
合計					

右及報告候也

年 月 日

富山縣知事氏名宛

縣稅徵收命令者

富山縣何郡(市)長 氏名印

備考

- 一 本表ハ納期末日^三后三日ヲ限度トシ調査スルモノトス
- 二 未收入額ニ對シテハ詳細理由ヲ備考ニ記載スヘキモノトス

●富山縣訓令甲第八號

明治三十五年一月二十四日

郡市役所 警察署
警察分署 町村役場

明治三十四年^三月富山縣訓令甲第二十號縣稅賦課規則取扱規程中左ノ通改正ス

第三條中「三月」トアルヲ「四月」ト改ス

第七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條ノ乙 船車ニ捺スル檢印及肩濟證票ニ捺スル印ハ左式ノ烙印ヲ用フヘシ
但當分ノ内車輛ニ限り従前ノ烙印ヲ用フルコトヲ得

富山縣
何々郡
(市)役所

一寸四分

第十五條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ニ依リ除去ノ處分ヲ爲シタルトキハ其都度稅目住所氏名ヲ當廳内務部ヘ通報スヘシ其所在

發見シタルトキ亦同シ

第十六條第一號中水車ノ下ニ「理髮人」ノ三字ヲ加フ

第二十二條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十二條ノ乙 稅金ノ仮納ヲ爲スヘキ營業ハ其願書ニ當該市役所町村役場ノ相當稅額仮納濟
ノ證印アルニアラサレハ之ヲ許可スルコトヲ得ス

前項ノ營業ヲ許可セザリシトキハ其旨稅金仮納ノ市役所町村役場ヘ通知スヘシ

第二十四條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 仮納稅金整理簿 第十五號書式

第二十七條中「三月十日」トアルヲ「四月十五日」ト改ム

第三十五條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第三十五條ノ乙 施行細則第二十四條ノ乙ニ依リ稅金ノ仮納ヲ爲ス者アルトキハ願書面ノ課稅
標準ニ相當スル稅金ヲ徵收シ願書餘白ニ左式ノ記入證印ヲ爲シ本人ニ交付スヘシ

(朱書)

稅金何程仮納濟
市役所
町村役場
(印)

第三十五條ノ丙 前仮納ヲ爲シタル税金ハ後日徴税令書ニ從ヒ本納ニ引直スヘシ
 營業不許可ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク仮納金ヲ還付スヘシ一部許可ノ爲メ剩餘トナリ
 タル金額亦同シ

第五號書式ノ甲(屆濟證書)備考ニ左ノ二項ヲ加フ

- 一 自轉車及乘馬ノ證書ニ限リ堅二寸五分横一寸五分トス
- 一 賦課規則第四十五條ノ乙ニ該當スル者ノ證書ニハ營業場所在地ノ代リニ營業區域、納税地
 及一定ノ居所アル者ハ其居所ヲ記載スヘシ

第八號書式(縣稅賦課個數調)備考第一項ヲ左ノ通改ム

- 一 年稅月稅ニ係ルモノハ最近ノ賦課個數ヲ、鯨海豚漁、屠畜、流材、狩獵、各種ノ季節稅及
 日稅ニ係ルモノハ其年七月一日ノ前年度賦課現計額ヲ調査シ掲載スルモノトス

第十號書式(課額報告)備考ニ左ノ一項ヲ加フ
 一 賦課規則第三條但書ニ該當スル税金ハ前期ヲ第一期欄ニ後期ヲ第三期欄ニ記入シ小計通計
 ニ内二十錢未滿ノ分何程]下内書スヘシ

第十三號(追加課額報告書)第十四號(戶數異動報告)ノ各書式備考ニ左ノ一項ヲ加フ

- 一 第十號書式備考第七項ハ本書式ニモ適用ス
- (第十五號書式) 仮納税金整理簿

稅目	課稅標準	仮納金額 仮納年月日	本納金額 本納年月日	還付金額 還付年月日	還付事由	納稅者住所氏名

一 本簿ハ會計年度毎ニ調製スルモノトス
 ●富山縣訓令甲第十七號

明治三十五年三月三日

市役所 町村役場

縣稅收納臺帳日計簿並ニ誤納還付臺帳樣式左ノ通和定ノ明治三十五年度ヨリ施行ス
 但明治二十六年三月訓令第二十四號地方稅收納臺帳並ニ日計簿樣式同三十三年五月訓令甲第四十
 五號縣稅收納取扱規程中第四號樣式ノ三及ヒ同樣式ノ四ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス
 (第一號樣式)

年月日	摘要	賦課額	減額	徵收濟額	徵收未濟額
明治卅五年 四月二十日	第何期又ハ何々傳 令書發ス	一、〇〇〇〇〇			一、〇〇〇〇〇
四月三十日	第何期又ハ何々傳 令書何通ニテ收納			四〇〇〇〇	六〇〇〇〇

全	第何期又ハ何々更 定簿令書發ス									五九五〇〇〇
計	臨時傳令書發ス	一〇〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇	五九五〇〇〇
五月十日			五〇〇〇							
月 日	何々									
月 日	何々									
月 日	何々									

備考

一 本用紙ハ税目毎ニ收納簿帳ノ初ニ附綴シ税目毎ノ日計月計累計ヲ掲記スハシ

二 一税目ニシテ數冊ニ分ツモノハ其最初ノ冊ニ數税目ヲ一冊トナシタルモノハ各税目ノ初ニ編綴スルモノトス

三 定期税、月税、及季節税等ニ對シ傳令書ヲ發シタルトキ又ハ金員收入シタルトキハ本用紙摘要欄ニ式ノ如ク肩書スヘシ

四 納期アルモノハ第何期分、月税ハ何月分季節税ハ其季節ノ區分ニ依リ掲記スルモノトス

(第二號様式)

明治何年度 何税

縣稅 收納臺帳

(何市役所)
何郡何町村役場

號番	年 額	第一期	第二期	第三期	第四期	納 稅
號 第	金四圓〇	〔金壹圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金壹圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金壹圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金壹圓〕 明治何年何月 何日收入〇	何 某
號 第	金四圓〇第一期 金六圓〇第二期 金八圓〇第三期 金七圓〇第四期	〔金壹圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金壹圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金壹圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金壹圓〕 明治何年何月 何日收入〇	明 某 治何年何月 何日地租増 (減)
號 第	金拾圓〇	〔金貳圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金貳圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金貳圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金貳圓〕 明治何年何月 何日收入〇	明 某 治何年何月 何日市町村 ヲ轉入又ハ (轉出ス)
號 第	金八圓〇第一期 金拾圓〇第二期 金拾圓〇第三期 金拾圓〇第四期	〔金貳圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金貳圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金貳圓〕 明治何年何月 何日收入〇	〔金貳圓〕 明治何年何月 何日收入〇	何 某
計 合						

備考

一 此用紙ハ年税ヲ賦課スルモノニ用キ簿帳ハ各別ニ調製スヘシ

二 地租ニ増減ヲ生シタル爲メ地租割ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ戸數割ヲ納ムルモノ年度中ニ轉出スルカ又ハ他ヨリ轉入シ若クハ分家等新ニ戸數割ノ賦課ヲ受クルモノアルトキハ納稅者

氏名ノ右傍ニ其事實並ニ月日等式ノ如ク朱書シ之ニ檢印スヘシ
 三年額ニ異動アルトキハ每期之ヲ増減シテ其金額ヲ掲クヘシ合計金額亦タ同シ
 四 追加徴收アルトキハ別ニ收納簿帳ヲ調製セス本様式中ヘ適宜區畫ヲ設ケ整理スルモ妨ケナシ
 五 年度后追徴金ニ用フル臺帳様式ハ本用紙及以下各様式ニ依リ各別ニ調製スヘシ
 六 營業稅附加稅ノ分ハ納期ノ欄ヲ二期ニ區畫スヘシ
 七 表中〇ヲ附シタルハ取扱主任ノ印〔ヲ附シタルハ徵稅傳令書ト割印シタル市役所又ハ役場ノ印以下様式ハ凡テ同シ
 (第三號様式)

第何號	何月何日傳令書發	分月四	何月何日傳令書發	分月五	何月何日傳令書發	分月六	何月何日傳令書發	分月七	何月何日傳令書發
〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇

備考
 一 此用紙ハ月稅ヲ賦課スルモノニ用キ一稅目毎ニ調製スヘシ
 二 年度中轉入出又ハ創廢業アルトキハ式ノ如ク朱書シ之ニ檢印スヘシ
 (第四號様式)

號第	徵稅額	摘要	納稅者
〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	何々	何	某
〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	何々	何	某
〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	明治何年何月何日ヨリ始業	何	某
〔金何程〇〕 明治何年何月何日 收入〇	何々	何	某

計合

金何程 ○
 内 金何程 ○ 何月何日納付
 金何程 ○ 何月何日滞納
 報告

備考

一 此用紙ハ季節税ニ用キ一税目毎ニ台帳ヲ調製スヘシ但便宜ニ依リ一冊トシテ見出テ附スルハ妨ナシ

(第五號様式)

番號	稅目	摘要	稅額	納稅者
第 號	興業稅	何月何日ヨリ何月何日マテ何日間分何月何日傳令書發付○	〔金何程〕○ 何月何日收入○	何 某
第 號	臨時市場稅	何月何日ヨリ何月何日マテ何日間分何月何日傳令書發付○ 同上月數ノ内何日間休業○	〔金何程〕○ 何月何日收入○ 滞納ニ付何月何日報告○	何 某
第 號	何々稅	何月何日ヨリ何月何日マテ何日間分何月何日傳令書發付○	〔金何程〕○ 何月何日收入○ 何々ニ依リ何年何月何日減額○	何 某

備考

一 此用紙ハ年稅月稅及季節稅ヲ除ク外凡テ日稅等ニ用キ帳簿ハ一冊トシテ一稅目毎ニ見出テ附スヘシ但便宜ニ依リ稅目毎ニ帳簿ヲ調製スルハ妨ケナシ
 (第六號様式)

明治何年度

縣稅收納日計簿

(何市役所)
 何郡何町村役場

收納月日	摘要	徵收金額	金庫へ送納金額	送納殘額
四月十日		一五〇〇〇	〇	一五〇〇〇
四月十一日		〇五〇〇	〇	〇五〇〇
月 日		〇	一五五〇〇	〇
四月二十七日	何々ノ理由ニ依リ延納	一五〇〇	〇	一五〇〇
四月二十八日		一五〇〇	〇	一五〇〇
四月二十九日		一五〇〇	〇	二五〇〇

四月三十日	一五〇〇〇	〇	一五〇〇〇
月一日	〇	二〇五〇〇	〇
合計	三六〇〇〇	三六〇〇〇	〇
累計			

備考

- 一 合計ハ毎月末日ニ於テ掲記スヘシ
- 二 累計ハ毎月合計ヲ合算シ之ヲ掲記スヘシ
- 三 規程ノ期日内ニ徴收金ヲ金庫ニ送納シ能ハサルトキハ其理由ヲ摘要欄ニ記入スヘシ

(第七號様式)

何年 度
縣稅過誤納還付臺帳

(何市役所)
何郡何町村役場

傳令書
番號
過誤納額
事
由
請求書
提出月日
金員受領
月日
本人へ交付
月日
納入住所氏名

五	一〇〇〇	戸數割賦課期日前納出シタルニ依リ過納トナル	五月十日	五月二十五日	五月二十七日	何	某
一〇	〇五〇	湯屋稅四拾錢徴收ノ處四拾五錢徴收セシニ依リ過納トナル	六月五日	六月十日	六月十七日	何	某
二二	一五〇〇	何々ニ依リ課納トナル	何月何日	何月何日	何月何日	何	某

●富山縣訓令甲第四十六號

明治三十五年四月十八日

郡市役所 警察署

警察分署 町村役場

明治三十四年三月 富山縣訓令甲第二十號縣稅賦課規則取扱規程中左ノ通改正ス

第二十二條中檢印ヲ與ヘノ下ニ「又ハ屠獸ノ生體檢査ヲ了シ」ノ十二字ヲ加フ

第二十二條ノ乙ニ左ノ一項ヲ加フ

屠獸ノ届出ヲ受ケタル場合亦前二項ニ準ス

第三十五條ノ乙 施行細則第二十四條ノ乙第二項ノ稅金假納濟證印ハ左式ニ依リ願届書餘白ニ之ヲ爲スヘシ

式如故

第三十五條ノ丙ニ左ノ一項ヲ加フ

屠獸ノ生體検査不合格ノ通知ヲ受ケタルトキ亦前項ニ準ス

●富山縣訓令甲第六十九號

明治三十五年七月二十五日

郡市役所 警察署
警察分署 町村役場

明治三十四年三月 富山縣訓令甲第二十號縣稅賦課規則取扱規程中左ノ通改正シ本年八月一日ヨリ實
施ス

第二十二條ノ乙中「税金ノ假納ヲ爲スヘキ」トアルヲ「願出ノ際納稅スヘキ」トシ其他同條中「假納」
トアルヲ「納付」ト改ム

第二十四條第三號ヲ削除ス

第三十五條ノ乙中「假納」トアルヲ「納付」ト改ム

第三十五條ノ丙ヲ削除ス

▲富山縣訓令甲第六十九號参照

富山縣訓令甲第二十號 縣稅賦課規則取扱規程(明治三十四年三月)抄錄

第二十二條ノ乙 税金ノ假納ヲ爲スヘキ營業ハ其願書ニ當該市役所町村役場ノ相當稅額
假納濟ノ証印アルニアラサレハ之ヲ許可スルコトヲ得ス

前項ノ營業ヲ許可セサリシトキハ其旨税金假納ノ市役所町村役場へ通知スヘシ
屠獸ノ届出ヲ受ケタル場合亦前二項ニ準ス

第二十四條 (前略)

三 仮納税金整理簿

第十五號書式

第三十五條ノ乙 施行細則第二十四條ノ乙第二項ノ税金假納濟証印ハ左式ニ依リ願届書
餘白ニ之ヲ爲スヘシ

(朱書)

税金何程假納濟

市役所
町村役場
印

第三十五條ノ丙 前條仮納ヲ爲シタル税金ハ後日徵稅令書ニ從ヒ本納ニ引直スヘシ
營業不許可ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク仮納金ヲ還付スヘシ一部許可ノ爲メ剩餘トナ
リタル金額亦同シ屠獸ノ生體検査不合格ノ通知ヲ受ケタルトキ亦前項ニ準ス

●富山縣訓令甲第七十號

明治三十五年七月二十五日

郡市役所 町村役場
縣金庫

明治三十三年五月 富山縣訓令甲第四十五號縣稅收納取扱規程中左ノ通改正本年八月一日ヨリ施行ス

但第九號様式縣稅賦課物件表ハ明治三十四年度分ヨリ施行ス

第五條 郡長ハ第四號様式ニ依リ徵稅簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

市町村長縣稅徵收ニ關スル細則第一條ニ依リ其市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シタルトキハ稅目毎ニ區分編綴スヘシ

第六條 町村長縣稅徵收ニ關スル細則第一條第二項ニ依リ徵稅令書ヲ發シタルトキハ其部年度稅目、課稅標準額、納稅人名ヲ直ニ所屬郡長ニ報告スヘシ

郡長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ自カヲ徵稅令書ヲ發シタルモノニ準シ之ヲ取扱フヘシ

第三條第四條第七條第九條第十條第十一條中「徵稅命令者」ヲ「郡市長」ト改ム

第十一條中「被稅物件年計表」ヲ「縣稅賦課物件表」ト改メ第九號様式左ノ通改ム

(第九號様式)

明治何年度縣稅賦課物件表

(△印ハ朱書)

稅目	稅率	賦課物件數	稅額	算出		備考
				過	不足	
地租	賦課率地租壹圓ニ付壹圓					
第一期		二二五〇〇〇〇	三三三三三〇〇			内地租額五圓五拾錢欠損
第二期		二二五〇〇〇〇	三三三三三〇〇			内地租額七圓五拾錢欠損

追加第一回分	賦課率地租壹圓ニ付五錢	賦課率一人ニ付貳圓	第一期	第二期	第三期	第四期	計	備考
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損
			100	100	100	100	400	内地租額七圓五拾錢欠損

。金參拾參圓九拾貳錢八厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。金參拾九圓貳拾七錢六厘
 內
 金四拾貳圓六拾四錢九厘
 第一項 地 租 割 金七拾八万參千參百五拾五圓六拾八錢貳厘
 寄 過

。外
 金參拾參圓九拾貳錢八厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。內
 金參拾九圓貳拾七錢六厘
 金四拾貳圓六拾四錢九厘
 第二款 營 業 稅 金貳万九百圓拾貳錢五厘
 寄 過

。外
 金貳百參拾壹圓四拾六錢五厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。第一項 商 業 稅 金壹万六千六百七拾九圓五拾九錢貳厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。外
 金貳百參圓七拾四錢七厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。金六拾八圓七拾六錢貳厘
 第二項 工 業 稅 金四千貳百貳拾圓五拾參錢參厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。金貳拾七圓壹錢八厘
 第三款 雜 種 稅 金七万四百四拾四圓四拾五錢壹厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。外
 金八百拾參圓參拾錢參厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。金貳百四圓九拾參錢六厘
 第一項 料 理 屋 稅 金九百貳拾參圓七拾九錢
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。外
 金八圓貳拾貳錢五厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。金八圓七拾五錢
 第二項 芝居茶屋稅 金貳圓
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。外
 金壹圓
 第三項 飲 食 店 稅 金千五百五拾五圓九拾錢貳厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。外
 金六拾八圓五拾六錢
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。金貳拾七圓六拾貳錢五厘
 第四項 湯 屋 稅 金五百貳拾八圓六拾六錢七厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

。外
 金九圓參拾七錢五厘
 滯納處分ノ未欠損額
 年度内徵收未済ニ付翌年度へ繰越額

第五項 理髮人稅 金六百參拾五圓參拾參錢參厘
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第六項 遊藝師匠稅 金六圓
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第七項 遊藝稼人稅 金六拾四圓五拾錢
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第八項 相撲稅 金拾八圓六拾錢
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第九項 俳優稅 金百拾五圓貳拾錢
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十項 藝妓稅 金貳萬五千八百九拾參圓九拾五錢
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十一項 市場稅 金參百參拾六圓拾錢
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十二項 演劇稅 金千五百八拾七圓五拾錢
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十三項 興行稅 金四百貳拾八圓四拾五錢
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十四項 遊覽所稅 金五拾九圓七拾五錢
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十五項 人寄席稅 金八圓
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十六項 遊技場稅 金五拾八圓拾貳錢五厘
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十七項 日本形船稅 金貳千貳百七拾四圓拾錢六厘
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十八項 西洋形船稅 金千九拾壹圓參拾貳錢六厘
。外
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十九項 船 稅 金四千八百四拾圓七錢五厘
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

。金四圓九拾五錢
。金八圓四拾錢
。外 滯納處分ノ未欠損額
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第二十項 車 稅 金貳萬千參百四拾四圓拾五錢
。外 滯納處分ノ未欠損額
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

。金貳百參拾參圓七拾七錢五厘
。金四拾六圓九拾貳錢五厘
。外 滯納處分ノ未欠損額
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第廿一項 水 車 稅 金千八百九拾貳圓六拾貳錢九厘
第廿二項 乘 馬 稅 金參拾壹圓七拾五錢
第廿三項 屠 畜 稅 金五百八拾參圓七拾錢
。外 滯納處分ノ未欠損額

。金四拾貳圓
。外 滯納處分ノ未欠損額
金五千八百五圓九錢八厘

。金拾五圓六拾五錢八厘
。外 滯納處分ノ未欠損額
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第廿五項 採 礦 稅 金貳拾四圓七拾五錢
第廿六項 自 轉 車 稅 金參拾五圓

。金五拾錢
。外 滯納處分ノ未欠損額
金壹萬五千參百參拾五圓四拾五錢六厘
但國稅額七萬七千五百五拾九圓五錢八厘ノ十分ノ二

第四款 營業稅附加稅 金壹萬五千參百參拾五圓四拾五錢六厘
。外 滯納處分ノ未欠損額
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

。金六拾四圓五拾五錢貳厘
。金參拾壹圓八拾五錢五厘
。內 滯納處分ノ未欠損額
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第五款 戶 數 割 金貳拾七萬貳千八百七拾貳圓拾四錢九厘
。外 滯納處分ノ未欠損額
寄 過

但賦課戶數拾參萬九千參百七拾四戶九九二七（內壹萬八千九百拾壹戶一二三〇富山、高岡市）壹戶ニ付市ハ金壹圓拾五錢町村ハ金壹圓貳拾四錢四厘

第壹回追加賦課戶數拾參萬九千貳百參拾七戶四四一〇壹戶ニ付貳拾五錢參厘

第貳回追加賦課戶數拾參萬八千五百七拾四戶八三七九壹戶ニ付金四拾錢參厘

第肆回追加賦課戶數拾參萬八千參百貳拾參戶〇六七三壹戶ニ付金八錢八厘

。金千七百八拾四圓參拾錢八厘

滯納處分ノ未欠損額

。金參百拾九圓九拾九錢九厘

年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

。金百四拾六圓四拾四錢八厘

課戶異動差引増及寄過

第一項 戶數割

金貳拾七万貳千八百七拾貳圓拾四錢九厘

。外

。金千七百八拾四圓參拾錢八厘

滯納處分ノ未欠損額

。金參百參拾九圓九拾九錢九厘

年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

。內

。金百四拾六圓四拾四錢八厘

課戶異動差引増及寄過

第六款 國庫下渡金

金貳万貳千八百七拾圓七拾七錢參厘

第一項 警察費下渡金

金貳万貳千八百七拾圓七拾七錢參厘

第二項 在監獄囚徒費

○

第七款 雜收入

金四万九百五拾七圓八拾五錢七厘

。內

。郡市收入

金五百七拾五圓參拾壹錢九厘

。外

。郡市收入

金四万參百八拾貳圓五拾參錢八厘

。金七百八圓拾五錢七厘

滯納處分ノ未欠損額

。金拾六圓拾壹錢七厘

年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第一項 請願巡査費納付金

金參百拾七圓八拾九錢五厘

第二項 懲罰及沒收金

金五百六拾五圓六拾五錢八厘

。內

。郡市收入

○ 金五百六拾五圓六拾壹錢八厘

。外

。郡市收入

金六圓壹錢九厘

第三項 使用料

金壹万千貳百四拾貳圓七拾貳錢五厘

第四項 授業料

金壹万千貳百四拾貳圓七拾貳錢五厘

。外

。郡市收入

金壹万千貳百四拾貳圓七拾貳錢五厘

。金壹圓

年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第五項 物品賣拂代

金五千七百貳拾九圓參拾九錢參厘

。內

。郡市收入

金九拾壹圓九拾五錢九厘

。外

。郡市收入

金五千六百參拾七圓四拾參錢四厘

。金七拾參錢七厘

年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第六項 囚徒工錢收入

金千六百八拾八圓五錢參厘

第七項 慈惠用物品代收入

金參拾壹圓九拾五錢參厘

第八項 賦金

金壹万八千貳百五拾五圓參錢貳厘

。外

。郡市收入

金壹万八千貳百五拾五圓參錢貳厘

。金五拾八圓九拾錢

滯納處分ノ未欠損額

第九項 手数料

金千七百六拾四圓八拾壹錢壹厘

第十項 學費還納

金百六拾參圓六錢壹厘

第十一項 縣稅滯納處分費

金四百四拾八圓九拾錢六厘

但郡收入

外
。金百四拾貳圓四拾錢
。金拾四圓參拾八錢

滯納處分ノ未欠損額
年度內徵收未濟ニ付翌年度へ繰越額

第十二項 訴訟入費賠償金

金八圓八拾錢五厘

內 郡 收 入

金參圓六拾六錢

內 郡市收入

金五圓拾四錢五厘

第十三項 年度后追徵金

金參百八拾圓參拾錢五厘

內 郡 收 入

金貳圓八錢參厘

內 郡市收入

金參百七拾八圓貳拾貳錢貳厘

外

。金五百六圓八拾五錢七厘

滯納處分ノ未欠損額

第十四項 通 券 料

金參百五拾五圓貳拾八錢壹厘

第十五項 雜 收 入

金貳拾八圓七拾壹錢壹厘

內 郡 收 入

金參百貳拾六圓五拾七錢

內 郡市收入

金百參拾參圓拾參錢

第八款 財產收入

金七拾參圓拾八錢

第一項 動產收入

金五拾九圓九拾五錢

第二項 不動產收入

金百貳拾貳萬六千五百六拾九圓六拾貳錢參厘

經常部 合計

內 郡 收 入

金四萬八千六百貳拾貳圓七拾貳錢參厘

內 郡市收入

金百拾七萬七千九百四拾六圓九拾錢

第一款 繰 越 金

金六拾萬九千參百四圓五拾五錢四厘

內 郡 收 入

金六百八拾五圓六拾五錢四厘

第一項 郡市收入

金六拾萬八千六百拾八圓九拾錢

內 前年度繰越金

金六拾萬九千參百四圓五拾五錢四厘

內 郡 收 入

金六百八拾五圓六拾五錢四厘

內 郡市收入

金六拾萬八千六百拾八圓九拾錢

第二款 國庫補助金

金七千四拾九圓六拾四錢五厘

第一項 傳染病豫防費補助金

金千百九拾參圓七拾七錢貳厘

第二項 教育費補助金

金參千八百圓

第三項 蠶種検査費補助金

金千七百五拾五圓八拾七錢參厘

第四項 農事試驗場費補助金

金參百圓

第三款 寄 附 金

金六千四百五圓七拾貳錢

第一項 警察費寄付

金四千參百五圓七拾貳錢

第二項 教育費寄付

金百圓

第三項 勸業費寄付

金五百圓

第四項 土木費寄付

金千五百圓

第四款	財產賣拂代	金千九百拾參圓七拾五錢
第一項	動產賣拂代	金五百七拾七圓
第二項	不動產賣拂代	金千參百參拾六圓七拾五錢
第五款	縣債	金五拾四萬貳千五百貳拾六圓七拾八錢貳厘
第一項	縣債	金五拾四萬貳千五百貳拾六圓七拾八錢貳厘
臨時部	合計	金百拾六萬七千貳百圓四拾五錢壹厘
內	郡市收入	金六百八拾五圓六拾五錢四厘
內	郡市收入	金百拾六萬六千五百拾四圓七拾九錢七厘
內	總計	金貳百參拾九萬參千七百七拾圓七錢七厘
內	郡市收入	金四萬九千參百八圓參拾七錢七厘
內	郡市收入	金貳百參拾四萬四千四百六拾壹圓六拾九錢七厘
內	差引	金參拾四萬千七百六拾八圓五拾八錢參厘
歲出	經常部	金貳百四拾九圓五拾八錢五厘
歲出	經常部	金參拾四萬五千五百拾八圓九拾九錢八厘
第一項	警察費	金拾壹萬參千九百八拾八圓六錢貳厘
第二項	俸給及諸給費	金七萬九千壹圓貳拾錢參厘
第二項	應給費	金參萬參千四百八拾五圓貳拾參錢四厘
<p>郡負擔額翌年度へ繰越額 金貳百四拾九圓五拾八錢五厘 金參拾四萬五千五百拾八圓九拾九錢八厘</p>		

第三項	機密費	金千五百圓
第四項	行政執行費	金壹圓六拾貳錢五厘
第二款	警察廳舍修繕費	金六百參拾九圓貳拾五錢貳厘
第一項	修繕費	金六百參拾九圓貳拾五錢貳厘
第三款	土木費	金拾萬五千八百八拾貳圓八拾七錢參厘
第一項	道路橋梁費	金壹萬九千六百五拾參圓貳拾壹錢六厘
第二項	治水堤防費	金八萬參千九百七拾九圓參拾八錢貳厘
第三項	測量費	金貳千貳百五拾圓貳拾七錢五厘
第四款	縣會議諸費	金七千百參拾圓五拾參錢壹厘
第一項	縣會議費	金貳千五百九拾壹圓參拾八錢四厘
第二項	參事會費	金四千五百參拾九圓拾四錢七厘
第五款	衛生及病院費	金四千七百貳拾八圓貳拾七錢四厘
第一項	衛生諸費	金千八百貳拾八圓五拾四錢八厘
第二項	檢校費	金貳千八百九拾九圓七拾貳錢六厘
第六款	教育費	金八萬八千八百四拾四圓七錢八厘
第一項	師範學校費	金參萬千貳百拾六圓九拾貳錢壹厘
第二項	第一中學校費	金壹萬八千五百八拾貳圓七拾四錢參厘
第三項	第二中學校費	金壹萬六百六拾九圓九拾六錢
第四項	第三中學校費	金八千五百參拾九圓五拾九錢壹厘
第五項	工藝學校費	金壹萬千五百拾壹圓參拾四錢五厘

第六類 縣稅

第六項	農學校費	金七千九百七拾五圓九錢
第七項	學事諸費	金七百九圓四拾貳錢八厘
第七款	郡廳舍修繕費	金參百五拾七圓貳拾錢八厘
第八項	郡吏員給料旅費及廳中諸費	金四萬八千貳百貳拾壹圓八拾貳錢
第一項	俸給及諸給	金四萬百七拾六圓八拾九錢壹厘
第二項	廳費	金八千四拾四圓九拾貳錢九厘
第九款	救育費	金四百拾八圓九拾八錢貳厘
第一項	救助費	金四百拾八圓九拾八錢貳厘
第十款	諸達書及揭示諸費	金千九百八拾參圓九拾參錢貳厘
第一項	令達諸費	金千九百八拾參圓九拾參錢貳厘
第十一款	勸業費	金壹萬參千參百五拾五圓六拾六錢壹厘
第一項	勸業會費	金七百參拾參圓參錢五厘
第二項	地方測候所費	金千六百六拾七圓九厘
第三項	蠶種檢查費	金四千參百八拾九圓六拾八錢貳厘
第四項	農事試驗場費	金千六百五圓貳錢八厘
第五項	物產陳列場費	金貳百圓
第六項	勸業諸費	金千參百貳拾壹圓五拾八錢壹厘
第七項	水產講習所費	金參千四百參拾九圓參拾貳錢六厘
第十二款	縣稅取扱費	金壹萬七千七百五拾貳圓六拾四錢貳厘

第一項	徵收費	金壹萬四千四百五拾貳圓八拾八錢八厘
第二項	金庫諸費	金參千貳百九拾九圓七拾五錢四厘
第十三款	縣廳舍修繕費	金百七拾參圓七錢參厘
第一項	修繕費	金百七拾參圓七錢參厘
第十四款	假縣廳舍費	金參百九拾貳圓四拾參錢
第一項	修繕費	金百貳圓六拾四錢四厘
第二項	雜費	金貳百八拾九圓七拾八錢六厘
第十五款	縣監獄費	金貳萬八千貳百九拾九圓七拾九錢六厘
第一項	俸給及諸給	金八千八百參拾圓拾七錢七厘
第二項	廳費	金四千百七圓七拾七錢七厘
第三項	在監人諸費	金壹萬參百七拾八圓貳拾參錢八厘
第四項	工業諸費	金四千九百八拾參圓六拾錢四厘
第十六款	縣監獄修繕費	金五百貳圓拾八錢參厘
第一項	修繕費	金五百貳圓拾八錢參厘
第十七款	地方郵便費	金四千百七拾圓八拾五錢
第一項	地方郵便費	金四千百七拾圓八拾五錢
第十八款	衆議院議員選舉費	金百五拾六圓貳拾四錢四厘
第一項	選舉費	金百五拾六圓貳拾四錢四厘
第十九款	縣吏員費	金參萬六千六百參拾六圓八拾參錢貳厘

。金九百參拾八圓拾四錢
 翌年度へ繰越

第一項 吏員費 金參万六千六百參拾六圓八拾參錢貳厘
 第二十款 縣會議員選舉費 金五拾七圓六拾參錢七厘
 第一項 選舉費 金五拾七圓六拾參錢七厘
 第二十一款 行政執行費 金四拾八圓八拾參錢五厘
 第一項 代執行費 金四拾八圓八拾參錢五厘
 第二十二款 財產費 金四拾壹圓六錢
 第一項 管理費 金四拾壹圓六錢
 第二十三款 收用審査會費 金八圓四拾錢
 第一項 雜給 金八圓四拾錢
 經常部 合計 金四拾七万參千七百九拾圓六拾五錢五厘
 內 郡負擔 金四万八千五百七拾九圓貳錢八厘
 郡市負擔 金四拾貳万五千貳百拾壹圓六拾貳錢七厘
 歲出 臨時部
 第一項 警察廳舎建築費 金貳万六千六百五拾九圓五拾壹錢七厘
 第一項 建築費 金貳万六千六百五拾九圓五拾壹錢七厘
 第二項 土木費 金八拾參万九千六百五拾七圓五拾貳錢參厘
 外 金
 金參拾万六千七百七圓九錢壹厘
 翌年度へ繰越

第一項 道路橋梁費 金六万拾貳圓參拾九錢貳厘
 第二項 雜費 金八千九百參拾八圓七拾錢九厘
 第三項 治水堤防費 金七拾六万八千八百七拾七圓七拾貳錢六厘
 第四項 測量費 金千八百拾四圓六拾九錢六厘
 第五項 河川葺帳調製費 金拾四圓
 郡市町村土木補助費 金拾六万九千參拾九圓參拾壹錢六厘
 外 金
 金九千五拾四圓拾參錢
 翌年度へ繰越

第一項 道路橋梁補助費 金五万六千八百八圓七錢壹厘
 第二項 治水堤防費 金拾壹万貳千貳百參拾壹圓貳拾四錢五厘
 第四款 市町村傳染病豫防補助費 金五千九百五拾參圓五拾六錢四厘
 市町村傳染病豫防補助費 金五千九百五拾參圓五拾六錢四厘
 第一項 市町村傳染病豫防補助費 金五千九百五拾參圓五拾六錢四厘
 第五款 教育費 金五万千參拾五圓貳拾四錢四厘
 外 金
 金五百六拾貳圓拾參錢貳厘
 翌年度へ繰越

第一項 師範學校費 金五千五百參拾圓貳拾七錢七厘
 第二項 第二中學校費 金六千五百參拾壹圓拾壹錢壹厘
 第三項 農學校費 金八千八百四拾五圓拾四錢四厘
 第四項 工藝學校費 金參万貳拾五圓參拾錢七厘

第五項	第一中學校費	金五百參圓四拾錢五厘
第六款	教育補助費	金六千九百八圓參拾錢四厘
第一項	教育補助費	金六千九百八圓參拾錢四厘
第七款	勸業費	金千六百九拾九圓貳拾五錢七厘
第一項	地方測候所費	金百九拾八圓貳拾錢
第二項	水產共進會費	金千五百壹圓五錢七厘
第八款	勸業補助費	金壹萬八千參百參圓九拾六錢八厘
第一項	勸業補助費	金壹萬八千參百參圓九拾六錢八厘
第九款	郡廳舍建築費	金四百七拾八圓五拾壹錢參厘
第一項	建築費	金四百七拾八圓五拾壹錢參厘
第十款	縣監獄建築費	金七百六拾七圓六拾八錢
第一項	建築費	金七百六拾七圓六拾八錢
第十一款	縣債費	金拾五萬四千參百五圓四拾錢
第一項	元金償還	金七萬七千七百四拾四圓七拾七錢參厘
第二項	縣債利子	金七萬參千五百九拾七圓貳拾八錢八厘
第三項	雜費	金貳千九百六拾參圓參拾參錢九厘
第十二款	慈惠救濟資金補充費	金五千圓
第一項	慈惠救濟資金補充費	金五千圓
第十三款	罹災救助基金補充費	金〇

第十四款	揭示場建築費	金百拾八圓參拾壹錢參厘
第一項	建築費	金百拾八圓參拾壹錢參厘
第十五款	衛生補助費	金四百貳拾壹圓四拾五錢
第一項	衛生補助費	金四百貳拾壹圓四拾五錢
第十六款	警察廳舍建築費	金五千五百五拾五圓五拾錢
第一項	警察廳舍建築費	金五千五百五拾五圓五拾錢
第十七款	教育費本年度支出額	金八萬六千參拾五圓貳拾五錢
第一項	教育費本年度支出額	金八萬六千參拾五圓貳拾五錢
第十八款	縣廳舍建築費本年度支出額	金四萬四千百參拾六圓八拾六錢九厘
外	外	
金九百八拾七圓貳拾四錢貳厘	翌年度へ繰越	
第十九款	縣廳舍建築費本年度支出額	金四萬四千百參拾六圓八拾六錢九厘
第一項	勸業費本年度支出額	金貳萬千參百五拾參圓五拾四錢壹厘
第二十款	關西府縣聯合共進會費本年度支出額	金貳萬千參百五拾參圓五拾四錢壹厘
第一項	慈惠事業補助費	金參百圓

第一項	慈惠事業補助費	金參百圓
第二十一款	補給金	金七千四百貳拾四圓八拾四錢五厘
第一項	工事損害補給金	金七千四百貳拾四圓八拾四錢五厘
第二十二款	縣廳舍建築費	金四百九圓拾錢九厘
第一項	建築費	金四百九圓拾錢九厘
第二十三款	河川改良工事費	金拾四萬貳千圓
第一項	河川改良工事費	金拾四萬貳千圓
第二十四款	雜出	金千四拾七圓六拾七錢參厘
內	郡市負擔	金壹圓貳拾五錢壹厘
第一項	地租割賦納下戻	金千四拾六圓四拾貳錢貳厘
內	郡市負擔	金貳拾壹圓七拾參錢八厘
第二項	雜種稅賦納下戻	金壹圓貳拾四錢四厘
第三項	營業稅附加稅賦納下戻	金貳拾圓四拾九錢四厘
第四項	戶數割賦納下戻	金八拾壹錢貳厘
內	郡市負擔	金六拾貳圓四拾五錢八厘
內	郡市負擔	金四拾四錢六厘
內	郡市負擔	金七厘
內	郡市負擔	金四拾參錢九厘

第五項	賦金誤納下戻	金參圓六拾五錢九厘
第六項	國庫補助金過收下戻	金八圓五錢
第七項	警察費追拂	金五圓參拾貳錢貳厘
第八項	縣會議諸費追拂	金拾五圓七拾錢
第九項	勸業費追拂	金四圓
第十項	勸業費追拂	金參圓
第十一項	縣稅取扱費追拂	金參百七拾圓五拾錢九厘
第十二項	縣債費追拂	金五百五拾五圓九拾七錢五厘
臨時部	合計	金百五拾七萬八千貳百拾圓八拾參錢六厘
內	郡市負擔	金四百七拾九圓七拾六錢四厘
內	郡市負擔	金百五拾七萬七千七百參拾壹圓七錢貳厘
內	郡市負擔	金貳百五萬貳千壹圓四拾九錢壹厘
內	郡市負擔	金四萬九千五拾八圓七拾九錢貳厘
內	郡市負擔	金貳百貳萬九千九百四拾貳圓六拾九錢九厘
歲入	合計	金貳百五拾七萬八千貳百拾圓八拾參錢六厘
第一項	權災救助基金收入	金六萬千四拾貳圓貳拾錢四厘
第二項	土木費貸出金返納	金貳萬千四百貳拾圓九拾七錢八厘
第三項	銀行引出金	金壹萬參千八百八拾四圓六拾錢

第三項 益金 金壹萬六千參百拾參圓四拾六錢九厘
 第五項 國庫補充金 金四千五百拾六圓貳拾六錢八厘
 第六項 雜收入 金貳拾八圓八拾七錢壹厘
 第七項 練越金 金四千八百七拾八圓壹錢八厘
 歲出差引金四千六百五拾參圓參拾五錢七厘
 翌年度へ練越額

歲出

第一款 罹災救助基金支出 金壹萬五千貳百七拾參圓四錢七厘
 第一項 救助費 金壹萬五千貳百七拾參圓四錢七厘
 第二款 罹災救助基金元資編入 金貳萬千百拾五圓八拾錢

第一項 國債證券購入 金七千貳百參拾壹圓貳拾錢

第二項 地方債證券購入 金壹萬參千八百八拾四圓六拾錢

第三款 罹災救助基金貸出 金貳萬圓

第一項 土木費貸出 金貳萬圓

歲出合計金五萬六千參百八拾八圓八拾四錢七厘

明治三十三年度富山縣小學校教員恩給金歲入歲出決算

歲入

第一款 小學校教員恩給金 金千參百貳拾參圓七拾參錢參厘

第一項 利息 金六百七拾六圓九拾壹錢七厘

第二項 國庫給與金 金六百貳拾壹圓八拾九錢貳厘

第三項 練越金 金貳拾四圓九拾貳錢四厘
 翌年度へ練越額

歲出差引金四拾貳圓五拾貳錢七厘

歲出

第一款 小學校教員恩給金 金千貳百八拾壹圓貳拾錢六厘

第一項 退隱料及扶助料 金六百拾四圓九拾五錢壹厘

第二項 給與金 金六百六拾六圓貳拾五錢五厘

明治三十三年度富山縣小學校教員加俸資金歲入歲出決算

歲入

第一款 小學校教員加俸資金收入 金貳萬五百拾五圓七拾五錢六厘

第一項 小學校教員加俸資金收入 金貳萬五百拾五圓七拾五錢六厘
 翌年度へ練越額

歲出差引金八千七百七拾八圓貳拾五錢六厘
 翌年度へ練越額

歲出

第一款 小學校教員加俸資金支出 金壹萬千七百參拾七圓五拾錢

第一項 小學校教員加俸資金支出 金壹萬千七百參拾七圓五拾錢

明治三十三年度教育資金歲入決算

歲入

第一款 教育資金收入 金九千貳百拾八圓五拾六錢九厘

第一項 教育資金收入 金九千貳百拾八圓五拾六錢九厘

明治三十三年度富山縣農工銀行株式引受資金國庫交付金歲入歲出決算

歲入

第一欸	農工銀行株式引受資金國庫交付金	金參万圓
第一項	農工銀行株式引受資金國庫交付金	金參万圓
第一欸	農工銀行株式引受資金	金參万圓
第一項	農工銀行株式引受資金	金參万圓
	明治三十三年度富山縣慈善救濟資金歲入歲出決算	
	歲入	
第一欸	慈善救濟資金收入	金千八拾六圓貳拾六錢貳厘
第一項	利子	金千八拾六圓貳拾六錢貳厘
第二欸	補充金	金五千圓
第二項	補充金	金五千圓
	歲入合計金六千八拾六圓貳拾六錢貳厘	
	歲出	
第一欸	慈善救濟資金	金六千八拾六圓貳拾六錢貳厘
第二項	慈善救濟資金	金六千八拾六圓貳拾六錢貳厘
	明治三十三年度富山縣水災基金歲入歲出決算	
	歲入	
第一欸	水災基金收入	金百拾四圓四拾九錢參厘
第一項	預金利息	金百拾四圓四拾九錢參厘
	歲出	

第一欸	水災基金	金百拾四圓四拾九錢參厘
第一項	水災基金	金百拾四圓四拾九錢參厘
	明治三十三年度富山縣衛生基金歲入歲出決算	
	歲入	
第一欸	衛生基金收入	金五拾貳圓九錢七厘
第一項	衛生基金收入	金五拾貳圓九錢七厘
	歲出	
第一欸	衛生基金	金五拾貳圓九錢七厘
第一項	衛生基金	金五拾貳圓九錢七厘
	明治三十三年度富山縣市町村立小學校教員恩給基金歲入決算	
	歲入	
第一欸	小學校教員恩給基金	金千四百八圓四拾八錢六厘
第一項	納金	金千四百八圓四拾八錢六厘
	明治三十三年度富山縣工藝學校基本財產收入決算	
	豫算金千貳百拾參圓九拾六錢	
	一。金參百貳拾圓五拾壹錢	
	。豫算金五拾圓	
	生徒實科製作品賣拂代	
	一金四拾參圓六拾參錢八厘	
	基本財產預金利息	
	。豫算合計金千貳百六拾參圓九拾六錢	
	合計金參百六拾四圓四拾九錢八厘	

明治三十三年度富山縣農學校基本財産收入決算

豫算金六百貳拾圓

一金百四拾貳圓六拾五錢

豫算金六拾七圓九錢六厘

一金五拾四圓九拾四錢五厘

豫算合計金六百八拾七圓九錢六厘

合計金百九拾七圓五拾九錢五厘

●富山縣告示第十二號

縣會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣歲入歳出豫算ノ要領左ノ通

明治三十五年度富山縣歲入出豫算

明治三十五年一月二十四日

歲入

經常部

第一款 地租 割 金六拾九方參千七百五拾五圓八拾貳錢九厘

第二款 郡市收入 金四万六千九百四拾八圓七拾壹錢七厘

第三款 郡市收入 金六拾四万六千八百七圓拾壹錢貳厘

第四款 地租 割 金六拾九方參千七百五拾五圓八拾貳錢九厘

但本年地租豫算高金七拾八万八千七百八拾九圓拾六錢壹厘(内金二千參百拾圓五拾五錢貳圓富山、高岡、市)地租壹圓ニ付市金八拾貳錢貳圓八拾八錢

內郡市收入

第二款 營業稅 金四万六千九百四拾八圓七拾壹錢七厘

第三款 營業稅 金六拾四万六千八百七圓拾壹錢七厘

第四款 工業稅 金八千參百五拾六圓六拾四錢七厘

第五款 雜種稅 金八万參百五拾九圓五拾六錢

第六款 料理屋稅 金七百四拾貳圓貳拾錢

第七款 芝居茶屋稅 金貳圓

第八款 飲食店稅 金千九百五拾八圓四拾錢

第九款 湯屋稅 金五百壹圓

第十款 理髮人稅 金七百六拾六圓八拾貳錢五厘

第十一款 遊藝師匠稅 金九圓

第十二款 遊藝稼人稅 金六拾八圓

第十三款 相撲稅 金貳拾圓七拾錢

第十四款 俳優稅 金百貳拾六圓

第十五款 藝妓稅 金貳万參千七百九拾六圓

第十六款 市塲戲稅 金五百拾貳圓九拾五錢

第十七款 演劇稅 金貳千八百六拾四圓五拾錢

第十八款 興行稅 金八百九圓九拾錢

第十九款 遊覽所稅 金七拾圓五拾錢

第三項	縣吏員納付金	金百四拾貳圓拾參錢
第四項	懲罰及沒收金	金參百七拾參圓壹錢四厘
第五項	使 用 料	金拾圓貳厘
第六項	授 業 料	金壹萬七千五百拾四圓
第七項	物品賣拂代	金千參百貳拾九圓七拾九錢壹厘
第八項	郡市收入	金貳百拾四圓參拾貳錢五厘
第九項	賦 金	金千百拾五圓四拾貳錢六厘
第十項	手 數 料	金壹萬九千七百九拾六圓八拾八錢
第十一項	學資還納金	金四百四拾八圓七拾五錢
第十二項	縣稅滯納處分費	金百參拾參圓拾貳錢貳厘
第十三項	賠 償 金	金四百四拾八圓九拾錢六厘
第十四項	郡市收入	金拾參圓四拾四錢壹厘
第十五項	郡市收入	金壹圓八拾參錢
第十六項	代執行費納付金	金拾壹圓六拾壹錢壹厘
第十七項	年度后追徵金	金五百圓
第十八項	郡市收入	金參百九圓六拾五錢
第十九項	郡市收入	金五圓拾錢四厘
第二十項	雜 費	金參百四圓五拾四錢六厘
第二十一項	雜 費	金百五拾七圓八拾壹錢四厘

經常部合計	內 郡市收入	金貳拾七圓貳拾九錢五厘
	內 郡市收入	金百參拾圓五拾壹錢九厘
	內 郡市收入	金六萬六千六百九拾圓八拾五錢七厘
	內 郡市收入	金百六萬五千五百拾貳圓參拾壹錢六厘
第一款	練 越 金	金壹萬參千貳百參拾壹圓八拾八錢壹厘
	內 郡市收入	金參百圓
	內 郡市收入	金壹萬貳千九百參拾壹圓八拾八錢壹厘
第二項	練 越 金	金壹萬參千貳百參拾壹圓八拾八錢壹厘
	內 郡市收入	金參百圓
第二款	國庫補助金	金壹萬七千七百四拾五圓貳錢貳厘
第三項	傳染病豫防補助金	金千七拾四圓六錢
第四項	教育費補助金	金四千六百圓
第五項	蠶種檢查費補助金	金參千七拾圓九拾六錢貳厘
第六項	農事試驗場補助金	金千圓
第七項	水產講習所補助金	金千圓
第八項	財產賣拂代	金壹萬貳千五百八拾六圓六拾貳錢
第九項	不動產賣拂代	金壹萬貳千五百八拾六圓六拾貳錢

臨時部合計 金參方六千五百六拾參圓五拾貳錢參厘

內 郡 收入 金參百圓

內 郡市收入 金參方六千貳百六拾參圓五拾貳錢參厘

歲入總計 金百拾五方九千七百六拾六圓六拾九錢六厘

內 郡 收入 金六方九千九拾圓八拾五錢七厘

內 郡市收入 金百九方七千七百五圓八拾參錢九厘

歲出

經常部

第一款 警察 費 金拾貳方九千七百九拾參圓參拾參錢貳厘

第一項 俸給及諸給 金九方七千參百六拾五圓七拾貳錢四厘

第二項 應 費 金參方九百貳拾七圓六拾錢八厘

第三款 機 密 費 金千五百圓

第二款 警察廳舍修繕費 金千四百五拾九圓參拾四錢參厘

第一項 修 繕 費 金千四百五拾九圓參拾四錢參厘

第三款 土 木 費 金九方五千貳百八拾貳圓七拾參錢貳厘

第一項 道路橋樑費 金壹方七千參百參拾參圓六拾參錢壹厘

第二項 治水堤防費 金七方四千參百四拾八圓七拾參錢四厘

第三項 測量量費 金千五百七拾八圓拾參錢參厘

第四項 雜 費 金貳千貳拾貳圓貳拾參錢四厘

第四款 縣會議諸費 金九千四百六拾六圓九拾壹錢八厘

第一款 縣會議費 金參千九百六拾六圓貳拾七錢壹厘

第二項 參事會費 金五千五百圓六拾四錢七厘

第五款 衛生及病院費 金六千九百九拾四圓五錢參厘

第一項 衛生諸費 金參千四百四圓貳拾六錢參厘

第二項 娼妓病院費 金參千八拾九圓七拾九錢

第六款 教 育 費 金拾貳方貳千六百參拾五圓四拾錢六厘

第一項 師範學校費 金四万九百七拾八圓八拾九錢壹厘

第二項 富山中學校費 金壹万八千參百參拾八圓四拾壹錢六厘

第三項 高岡中學校費 金壹万六千貳百四拾五圓參拾七錢七厘

第四項 魚津中學校費 金壹万六千九拾六圓六拾六錢八厘

第五項 高等女學校費 金四千五百拾壹圓六拾六錢九厘

第六項 工藝學校費 金壹万參千九百五圓參厘

第七項 農學學校費 金壹万千參百八圓七拾貳錢六厘

第八項 農學分校費 金五千貳拾四圓六拾貳錢四厘

第九項 學事諸費 金五百貳拾六圓參錢貳厘

第七款 郡廳舍修繕費 金七百貳拾九圓八拾參錢五厘

第一款 修 繕 費 金七百貳拾九圓八拾參錢五厘

第八款 郡役所費 金五万五千四百九拾七圓九拾四錢四厘

第一項 俸給及諸給 金四万參千八百拾四圓拾參錢參厘

第二項 應 費 金壹万六千八百八拾參圓八拾壹錢壹厘

第九款	教育費	金五百參圓五拾錢九厘
第十款	救濟費	金五百參圓五拾錢九厘
第十款	諸達書及揭示諸費	金千九百五拾五圓八拾錢八厘
第十款	令達諸費	金千九百五拾五圓八拾錢八厘
第十一款	勸業費	金貳萬千九百七拾九圓七錢壹厘
第十款	勸業會費	金八百九拾五圓貳拾八錢五厘
第十二款	地方測候所費	金貳千參百七拾七圓九拾六錢七厘
第十三款	蠶種檢查費	金六千四百四拾壹圓九拾貳錢四厘
第十四款	農事試驗場費	金四千七百九拾圓五拾五錢九厘
第十五款	水產講習所費	金五千貳百貳拾四圓拾參錢六厘
第十六款	害虫驅除豫防費	金百六拾圓
第十七款	勸業諸費	金貳千參百八拾九圓貳拾錢
第十八款	縣稅取汲費	金壹萬七千五百六拾四圓七拾八錢參厘
第十九款	徵收費	金壹萬四千七百貳拾圓七拾八錢參厘
第二十款	金庫諸費	金貳千八百四拾四圓
第二十一款	縣廳舍修繕費	金八百六拾八圓四拾錢九厘
第二十二款	修繕費	金八百六拾八圓四拾錢九厘
第二十三款	衆議院議員選舉費	金貳百八拾壹圓拾九錢壹厘
第二十四款	衆議院議員選舉費	金貳百八拾壹圓拾九錢壹厘
第二十五款	縣吏員費	金貳萬參千貳百九圓貳拾四錢五厘

第一項	吏員費	金貳萬參千貳百九圓貳拾四錢五厘
第二項	河川吏員費	金千七百七拾貳圓五拾貳錢
第三項	河川吏員費	金千七百七拾貳圓五拾貳錢
第四項	縣會議員選舉費	金六拾八圓七拾六錢四厘
第五項	選舉費	金六拾八圓七拾六錢四厘
第六項	行政執行費	金五百圓
第七項	代執行費	金五百圓
第八項	財產費	金貳百六拾七圓五拾錢
第九項	管理費	金百五拾圓
第十項	測量費	金百拾七圓五拾錢
第十一款	收用審查會費	金八拾四圓七拾五錢
第十二款	收用審查會費	金八拾四圓七拾五錢
第十三款	豫備費	金七千參百八拾五圓六拾四錢八厘
第十四款	豫備費	金七千參百八拾五圓六拾四錢八厘
第十五款	郡市負擔	金六千七拾貳圓參拾六錢九厘
第十六款	郡市負擔	金六千七拾貳圓參拾六錢九厘
第十七款	郡市負擔	金五千參百拾參圓貳拾七錢九厘
第十八款	郡市負擔	金五千參百拾參圓貳拾七錢九厘
第十九款	郡市負擔	金四拾九萬九千九百圓七拾六錢壹厘
第二十款	郡市負擔	金四拾九萬九千九百圓七拾六錢壹厘
第二十一款	郡市負擔	金五萬七千五百四拾壹圓五錢八厘
第二十二款	郡市負擔	金五萬七千五百四拾壹圓五錢八厘
第二十三款	郡市負擔	金四拾參萬九千參百五拾九圓七拾錢參厘
第二十四款	郡市負擔	金四拾參萬九千參百五拾九圓七拾錢參厘
經常部合計		金四拾九萬九千九百圓七拾六錢壹厘

- 第一款 警察廳舍建築費 金千五百五拾圓拾錢六厘
- 第一項 建築費 金千五百五拾圓拾錢六厘
- 第二款 土木費 金貳萬四千六百六拾五圓貳拾八錢參厘
- 第一項 道路橋梁費 金貳萬四千百貳拾五圓參拾六錢八厘
- 第二項 治水堤防費 金參百貳拾七圓六拾九錢五厘
- 第三項 雜費 金貳百拾貳圓貳拾貳錢
- 第三款 郡市町村土木補助費 金六萬八千七百七拾參圓七拾四錢五厘
- 第一項 道路橋梁補助費 金參萬四百六拾壹圓貳拾九錢壹厘
- 第二項 治水堤防補助費 金參萬七千七百拾貳圓四拾五錢四厘
- 第四款 市町村傳染病豫防補助費 金五千圓
- 第五款 教育費 金貳萬七千九百五拾九圓五拾五錢
- 第一項 師範學校費 金壹萬七千六百參拾四圓四拾五錢
- 第二項 富山中學校費 金百拾八圓四拾四錢
- 第三項 高岡中學校費 金千貳百八圓六拾四錢
- 第四項 農學校費 金八千九百九拾八圓貳錢
- 第六款 教育補助費 金九千參百五拾貳圓八拾四錢
- 第一項 教育補助費 金九千參百五拾貳圓八拾四錢

- 第七款 勸業費 金四千五百貳拾四圓八拾錢
- 第一項 水產講習所費 金參千圓
- 第二項 模範森林費 金千五百貳拾四圓八拾錢
- 第八款 勸業補助費 金貳萬貳千參拾八圓
- 第一項 勸業補助費 金貳萬貳千參拾八圓
- 第九款 縣廳舍建築費 金貳千五百參拾八圓
- 第一項 縣廳舍建築費 金貳千五百參拾八圓
- 第十款 郡廳舍費 金四千四百四拾九圓七拾九錢九厘
- 第一項 郡廳舍費 金四千四百四拾九圓七拾九錢九厘
- 第十一款 縣債費 金貳拾八萬貳千九百六拾四圓八錢六厘
- 第一項 元金償還金 金拾八萬九千九百貳拾八圓拾五錢參厘
- 第二項 縣債利子 金九萬貳千四百參拾七圓拾參錢參厘
- 第三項 雜費 金五百九拾八圓七拾六錢
- 第十二款 慈善救濟資金補助費 金五千圓
- 第一項 慈善救濟資金補助費 金五千圓
- 第十三款 罹災救助基金補助費 金貳萬九千五百圓
- 第一項 罹災救助基金補助費 金貳萬九千五百圓
- 第十四款 衛生補助費 金四百貳拾壹圓四拾五錢

第一項	衛生補助費	金四百貳拾壹圓四拾五錢
第十五款	教育費本年度支出額	金貳萬千七百七拾九圓五拾錢
第二項	魚津中學校建築費本年度支出額	金貳萬千七百七拾九圓五拾錢
第十六款	勸業費本年度支出額	金七千貳拾四圓六拾五錢九厘
第一項	第八回關西府縣聯合共進會費	金千五百五拾九圓六拾五錢九厘
第二項	第五回內國勸業博覽會費	金五千四百六拾五圓
第十七款	慈善事業補助費	金參百圓
第一項	慈惠事業補助費	金參百圓
第十八款	河川改良工事費	金拾四萬貳千圓
第一項	庄川改良工事費	金拾四萬貳千圓
第十九款	小學校教員恩給金補充費	金四百七拾四圓拾壹錢七厘
第二項	小學校教員恩給金補充費	金四百七拾四圓拾壹錢七厘
第二十款	河川葦帳調製費	金參千七百五拾圓
第一項	河川葦帳調製費	金參千七百五拾圓
臨時部合計	金六拾六萬貳千八百六拾五圓九拾參錢五厘	
內	郡	金四千四百四拾九圓七拾九錢九厘
	市	金六拾五萬八千四百拾六圓拾參錢六厘

三十五年一月二十一日

歲出總計	金百拾五萬九千七百六拾六圓六拾九錢六厘	
內	郡	金六萬九千九百九拾圓八拾五錢七厘
	市	金百九萬七千七百七拾五圓八拾參錢九厘
●富山縣告示第十三號		
明治三十五年一月二十四日		
通常縣會ニ於テ否決シタル自治三十四年度至明治三十七年度富山縣教育費繼續年期及支出方法變更及明治三十四年度富山縣歲出豫算追加ノ件內務大臣ノ指揮ヲ受ケ左ノ通施行ス		
自明治三十四年度富山縣教育費繼續年期及支出方法變更		
至明治三十七年度		
一前議決額	金七萬七千八百八拾壹圓九拾錢	
一變更額	金七萬八千八百八拾五圓拾貳錢壹厘	
內	前議決額	金貳萬九千六百參拾壹圓四拾錢
	變更額	金參萬八千參拾四圓六拾貳錢壹厘
備考	明治三十五年度以降ハ前議決額ノ通りトス	
明治三十四年度富山縣歲出豫算追加		
歲出	臨時部	
第十五款	教育費本年度支出額	金千貳百參圓貳拾貳錢壹厘
第一項	魚津中學校建築費本年度支出額	金千貳百參圓貳拾貳錢壹厘

但本歲出ニ對スル歲入ハ本年度歲入歲出差引殘金ヲ以テ
充用スルモノトス
明治三十五年一月二十四日

●富山縣告示第十四號
縣會ノ議決ヲ經タル自明治三十五年度
至明治三十六年度富山縣勸業費繼續年期及支出方法左ノ通

自明治三十五年度
至明治三十六年度富山縣勸業費繼續年期及支出方法
一金七千五百圓
勸業費中第五回内國勸業博覽會費

内 譯
金五千四百六拾五圓
明治三十五年度支出額

金千五百八拾五圓
明治三十六年度支出額

前記ノ通繼續年期ヲ以テ支出スルモノトス

●富山縣告示第十五號
明治三十五年一月二十四日

縣會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣特別會計ニ屬スル歲入歲出差出豫算ノ要領左ノ通
明治三十五年度富山縣罹災救助基金歲入歲出豫算

歲 入

- 第一款 基金收入 金五万四千四百六拾圓五拾四錢貳厘
- 第一項 益 金 金壹万七千四百四拾四圓貳拾七錢四厘
- 第二款 國庫補助金 金四千五百拾六圓貳拾六錢八厘

第三款 縣稅積立金 金貳万九千五百圓

第一款 雜費收入 金參万八千貳百四拾六圓貳拾四錢參厘

第一項 物品賣拂代 金貳拾圓

第二款 越 金 金壹万圓

第三款 繰出 金 金壹千圓

第一款 基金支出 金壹万八千四百六拾六圓四拾錢

第一項 救 助 費 金壹万八千四百六拾六圓四拾錢

第二款 雜費支出 金七万圓

第一款 公債購入費 金七万圓

第三款 豫備費 金千貳百四拾圓參拾八錢五厘

第一款 豫 備 費 金千貳百四拾圓參拾八錢五厘

第一款 水災基金收入 金貳百八拾七圓五拾八錢參厘

第一款 利息 子 金貳百八拾七圓五拾八錢參厘

第一款 水災基金 金貳百八拾七圓五拾八錢參厘

第一項 水災救濟基金 金貳百八拾七圓五拾八錢參厘
明治三十五年度富山縣衛生基金歲入歲出豫算

歲入

第一款 衛生基金收入 金百貳拾九圓九拾錢參厘

第一項 利息 金百貳拾九圓九拾七錢參厘

歲出

第一款 衛生基金 金百貳拾九圓九拾七錢參厘

第一項 衛生基金 金百貳拾九圓九拾七錢參厘

明治三十五年度富山縣惠慈救濟資金歲入歲出豫算

歲入

第一款 惠慈救濟資金收入 金貳千七百七拾六圓拾六錢四厘

第一項 利息 金貳千七百七拾六圓拾六錢四厘

第二款 補充金 金五千圓

第一項 補充金 金五千圓

合計 金七千七百七拾六圓拾六錢四厘

歲出

第一款 惠慈救濟資金 金七千七百七拾六圓拾六錢四厘

第一項 惠慈救濟資金 金七千七百七拾六圓拾六錢四厘

明治三十五年度富山縣小學校教員恩給基金歲入歲出豫算

歲入

第一款 小學校教員恩給基金收入 金千四百八圓四拾八錢六厘

第一項 納金 金千四百八圓四拾八錢六厘

歲出

第一款 小學校教員恩給基金 金千四百八圓四拾八錢六厘

第一項 小學校教員恩給基金 金千四百八圓四拾八錢六厘

明治三十五年度富山縣小學校教員恩給金歲入歲出豫算

歲入

第一款 小學校教員恩給金收入 金千九百八拾七圓八拾錢四厘

第一項 小學校教員恩給金收入 金千九百八拾七圓八拾錢四厘

歲出

第一款 小學校教員恩給金收入 金千九百八拾七圓八拾錢四厘

第一項 退隱料扶助及扶助金 金千百貳拾參圓八拾錢四厘

第二項 給與金 金八百六拾四圓

明治三十五年度富山縣教育資金歲入歲出豫算

歲入

第一款 教育資金收入 金貳萬貳千參拾四圓八拾壹錢貳厘

第二項 教育資金收入 金貳萬貳千參拾四圓八拾壹錢貳厘

歲出

第一款 教育資金支出 金貳萬八千七百七拾七圓九錢九厘

第二項 教育資金支出 金貳萬八千七百七拾七圓九錢九厘

第六類 縣稅

第一項 教育資金支出 金貳萬八千七百七拾七圓九錢九厘

第六類 縣稅

第一 款 工藝學校基本財産收入 金千八百九拾九圓八拾八錢

第一 項 基本財産收入 金千八百九拾九圓八拾八錢

歲 出

第一 款 工藝學校基本財産 金千八百九拾九圓八拾八錢

第一 項 基本財産 金千八百九拾九圓八拾八錢

明治三十五年度富山縣農學校基本財産歲入歲出豫算

歲 入

第一 款 農學校基本財産收入 金千六百七拾圓七拾參錢壹厘

第一 項 基本財産收入 金千六百七拾圓七拾參錢壹厘

歲 出

第一 款 農學校基本財産 金千六百七拾圓七拾參錢壹厘

第一 項 基本財産 金千六百七拾圓七拾參錢壹厘

●富山縣告示第二十號

明治三十五年二月七日

縣參事會ノ議決ヲ經テ明治三十四年度富山縣歲入豫算追加ノ要領左ノ通

明治三十四年度富山縣歲入豫算追加

歲 入 經常部

第九 款 河川收入 金五圓

第二 項 土石其他生産物賣拂代 金五圓

●富山縣告示第三十七號

明治三十五年三月七日

明治三十四年年富山縣歲出豫算縣參事會ノ議決ヲ經テ左ノ通變更ス

明治三十四年度富山縣歲出豫算變更

歲 出 經常部

第六 款 教育費

前議決豫算高 金拾壹万五千六百七拾七圓四拾四錢九厘

變更豫算高 金拾壹万六千六百參拾四圓九拾四錢六厘

第七 項 農學校費

前議決豫算高 金壹万貳百拾貳圓四拾錢

變更豫算高 金壹万六千六百九拾九圓八拾九錢七厘

臨時部

第六 款 教育補助費

前議決豫算高 金七千貳百五拾貳圓八拾四錢

變更豫算高 金六千四百六拾圓八拾四錢

第一 項 教育補助費

前議決豫算高 金七千貳百五拾貳圓八拾四錢

變更豫算高 金六千四百六拾圓八拾四錢

第十九 款 小學校教員恩給金補充費

前議決豫算高 金貳百貳拾七圓七錢八厘

變更豫算高 金五百六拾壹圓五拾八錢壹厘

●富山縣告示第三十八號 明治三十五年三月七日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十四年度富山縣小學校教員恩給金歲入歲出豫算追加ノ要領左ノ如シ

明治二十四年度富山縣小學校教員恩給金歲入歲出追加豫算

第一款 小學校教員恩給 金參百參拾四圓五拾錢參厘

第一款 小學校教員恩給 金參百參拾四圓五拾錢參厘

第一款 小學校教員恩給 金參百參拾四圓五拾錢參厘

第一款 小學校教員恩給 金參百參拾四圓五拾錢參厘

●富山縣告示第五十五號 明治三十五年三月三十一日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十四年度富山縣追加歲入出豫算及同上變更豫算ノ要領左ノ通

明治三十四年度富山縣追加歲入歲出豫算

第一款 小學校教員恩給 金參百參拾四圓五拾錢參厘

第二款 教育費補助 金四百四拾圓

第六款 教育費 金千百圓

第七項 農學校費 金參百圓

明治三十四年度富山縣歲出豫算變更

第五款 教育費

前議決豫算高 金貳万七千五百五拾圓五拾四錢九厘

變更豫算高 金貳万六千八百九拾圓五拾四錢九厘

前議決豫算高 金壹万四千五百八拾九圓九拾五錢

變更豫算高 金壹万四千九百九拾五錢

前議決豫算高 金五千百六拾圓七拾錢

變更豫算高 金四千九百八拾圓七拾錢

●富山縣告示第七十六號 明治三十五年四月十八日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ如シ
明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算

歳入

第一款 繰越金

第一項 前年度繰越金 金拾四万千六百七拾圓八拾八錢五厘

歳出

第十五款 縣吏員費 金八百參拾四圓參拾四錢

第一款 繰越金 金拾四万千六百七拾圓八拾八錢五厘

臨時部

第二項 治水堤防費 金拾參万九千百拾九圓六拾四錢壹厘

第一項 道路橋梁費 金四万四千參百四拾圓七拾四錢參厘

第三項 雜費 金九万四千貳百拾九圓四拾貳錢貳厘

第四項 測量費 金四百貳拾九圓貳拾壹錢四厘

第三項 郡市町村土木補助費 金百參拾圓貳拾六錢貳厘

第二項 道路橋梁費補助 金千七百拾六圓九拾錢四厘

第一項 道路橋梁費補助 金千六百五拾四圓五拾八錢參厘

第二項 治水堤防費補助 金六拾貳圓參拾貳錢壹厘

歳出臨時部合計 金拾四万八千八百參拾六圓五拾四錢五厘

歳出總計 金拾四万千六百七拾圓八拾八錢五厘

●富山縣告示第七十七號
明治三十五年四月十八日
縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ如シ

歳入

臨時部

第一款 繰越金 金壹萬五百四拾七圓貳拾四錢九厘

第一項 前年度繰越金 金壹萬五百四拾七圓貳拾四錢九厘

歳出

臨時部

第二款 土木費 金壹萬九拾參圓五拾八錢四厘

第一項 道路橋梁費 金壹萬九拾參圓五拾八錢四厘

第三款 郡市町村土木補助費 金參百八拾貳圓五拾四錢五厘

第一項 道路橋梁費補助 金參百八拾貳圓五拾四錢五厘

第二十款 河川台帳調製費 金七拾壹圓拾貳錢

第一項 河川台帳調製費 金七拾壹圓拾貳錢

臨時部合計 金壹萬五百四拾七圓貳拾四錢九厘

●富山縣告示第七十八號

明治三十五年四月十八日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算

歳入

第二款 繰越金 金參万千八百六拾七圓五拾貳錢六厘

第一項 前年度繰越金 金參万千八百六拾七圓五拾貳錢六厘

歳出

臨時部

第五款 教育費 金千七拾九圓四拾錢五厘

第三項 高岡中學校費 金八百六拾壹圓七錢貳厘

第五項 工藝學校費 金貳百拾八圓參拾參錢參厘

第十五款 教育費本年度支出額 金參万七百八拾八圓拾貳錢壹厘

第一項 魚津中學校建築費本年度支出額 金參万七百八拾八圓拾貳錢壹厘

歳出臨時部合計 金參万千八百六拾七圓五拾貳錢六厘

●富山縣告示第七十九號

明治三十五年四月十八日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算

歳入

第一款 繰越金 金千五百圓

第一項 前年度繰越金 金千五百圓

歳出

經常部

第二十二款 雜支出 金千五百圓

第一項 土木費寄附下辰金 金千五百圓

●富山縣告示第八十號

明治三十五年四月十八日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度歳入歳出追加豫算追加ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歳入追加豫算

歳入

臨時部

第六款 財產賣拂代 金拾圓八拾錢

第一項 不動產賣拂代 金九圓

第二項 動產賣拂代 金壹圓八拾錢

●富山縣告示第九十六號

明治三十五年五月十六日

第六類 縣稅

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ通

明治三十五年度富山縣歲入歲出追加豫算

歲入臨時部

第一款 繰越金 金四百貳拾七圓參拾參錢四厘

第一項 繰越金 金四百貳拾七圓參拾參錢四厘

歲出臨時部

第十六款 勸業費本年度支 金四百貳拾七圓參拾參錢四厘

第一項 勸業費本年度支 金四百貳拾七圓參拾參錢四厘

●富山縣告示第百十號

明治三十五年六月六日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣羅災救助基金歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ通

明治三十五年度富山縣羅災救助基金歲入歲出追加豫算

歲入

第二款 雜入 金五千七百五拾圓

第四項 公債證券償還 金五千七百五拾圓

歲出

第二款 雜出 金五千七百五拾圓

第四項 公債購入費 金五千七百五拾圓

●富山縣告示第百十五號

明治三十五年六月十三日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歲入歲出追加豫算

歲入

第一款 繰越金 金貳千參百參圓五拾壹錢八厘

第一項 前年度繰越金 金貳千參百參圓五拾壹錢八厘

歲出

第一款 繰越金 金貳千參百參圓五拾壹錢八厘

第一項 前年度繰越金 金貳千參百參圓五拾壹錢八厘

臨時部

第三款 郡市町村土木補助費 金貳千參百參圓五拾壹錢八厘

第二項 治水堤防補助費 金貳千參百參圓五拾壹錢八厘

●富山縣告示第百二十三號

明治三十五年六月二十七日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歲入歲出追加豫算

歲入臨時部

第一款 繰越金 金壹千九百九拾七圓拾壹錢六厘

第一項 前年度繰越金 金壹千九百九拾七圓拾壹錢六厘

歲出臨時部

第二十一款 過年度支出 金壹千九百九拾七圓拾壹錢六厘

第一項 縣債 金壹千九百九拾七圓拾壹錢六厘

●富山縣告示第三百三十五號 明治三十五年八月一日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算

第九款 雜收 入 金五百圓

第十五項 警察費償還 金五百圓

第一款 警 察 費 金五百圓

第二款 應 費 金五百圓

●富山縣告示第三百三十六號 明治三十五年八月一日

縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算

第一款 雜收 入 金 金貳萬八千七百七拾圓貳拾七錢八厘

第一款 雜收 入 金 金貳萬八千七百七拾圓貳拾七錢八厘

第二款 土 木 費 金貳萬八千七百七拾圓貳拾七錢八厘

第一項 道路橋梁費 金千貳百七拾圓貳拾六錢

第二項 治水堤防費 金貳萬六千九百圓壹錢八厘

●富山縣告示第三百五十一號 明治三十五年八月二十二日

本月十八日本縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算

第九款 雜收 入 金參圓

第六項 物品賣却代 金參圓

第一款 雜收 入 金 金千五百五圓拾壹錢七厘

第一款 雜收 入 金 金千五百五圓拾壹錢七厘

歳入合計 金千八百八圓拾壹錢七厘

第二款 土 木 費 金千八百八圓拾壹錢七厘

第二項 治水堤防費 金千八百八圓拾壹錢七厘

●富山縣告示第三百五十二號 明治三十五年八月二十二日

本月十八日本縣參事會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣歳入歳出追加豫算

歲入臨時部

- 第一款 繰越金 金五千五百五拾參圓貳拾參錢七厘
- 第一款 繰越金 金五千五百五拾參圓貳拾參錢七厘
- 第二款 國庫補助金 金千參拾圓六拾四錢八厘
- 第一款 傳染病豫防補助金 金千參拾圓六拾四錢八厘
- 歲入合計 金六千八百八拾參圓八拾八錢五厘
- 歲出 經常部
- 第五款 衛生及病院費 金六千八百八拾參圓八拾八錢五厘
- 第一款 衛生諸費 金六千八百八拾參圓八拾八錢五厘

●富山縣告示第百八十四號

明治三十五年九月二十六日

明治三十五年度富山縣歲入歲出追加豫算臨時縣會ノ議決ヲ經內務大臣ノ指揮ヲ受ケ左ノ通相定ム

歲入

臨時部

- 第一款 地租 割 金九千四百六十五拾四圓六拾九錢九厘
- 第一款 地租 割 金九千四百六十五拾四圓六拾九錢九厘
- 第一款 戶數 割 金參萬參千參百參拾壹圓四拾四錢
- 第一款 戶數 割 金參萬參千參百參拾壹圓四拾四錢

但本年地租豫算高金七拾八千八百八拾九圓九拾六錢壹厘地租壹圓ニ付金拾貳錢

但本年總戶數十三萬八千八百八十一戶戶數一戶ニ付金貳拾四錢

經常部合計 金拾貳萬七千九百八拾六圓拾參錢九厘

臨時部

- 第一款 繰越金 金六百九拾六圓貳拾參錢九厘
- 第一款 繰越金 金六百九拾六圓貳拾參錢九厘
- 第二款 國庫補助金 金貳萬貳千參拾四圓參拾五錢壹厘
- 第一款 土木費補助 金貳萬貳千參拾四圓參拾五錢壹厘
- 第四款 縣債 金拾四萬九千圓
- 第一款 縣債 金拾四萬九千圓
- 臨時部合計 金拾七萬七千七百參拾圓五拾九錢
- 歲入總計 金貳拾九萬九千七百拾六圓七拾貳錢九厘

歲出

經常部

- 第十二款 縣稅取扱費 金千參百參拾參圓貳拾五錢八厘
- 第一款 徵收費 金千參百參拾參圓貳拾五錢八厘
- 臨時部
- 第二款 土木費 金貳拾參萬七千七百貳圓七拾壹錢八厘
- 第一款 道路橋梁費 金七千六百九拾參圓七拾七錢六厘
- 第二款 治水堤防費 金貳拾貳萬參千參百九拾六圓九拾四錢貳厘

第三項 雜費 金五千九百拾八圓
 第四項 測量費 金六百九拾四圓
 第三款 郡市町村土木補助費 金貳万六千六百九拾壹圓七拾貳錢六厘
 第一款 道路橋梁費補助 金五千五拾四圓八拾七錢五厘
 第二款 治水堤防費補助 金貳万五千六百參拾六圓八拾五錢壹厘
 第十一款 縣債費 金九百參拾七圓五拾錢
 第二項 縣債利子 金九百參拾七圓五拾錢
 第二十一款 土木費本年度支出額 金參万參千五拾壹圓五拾貳錢七厘
 第一款 道路橋梁費 金參万參千五拾壹圓五拾貳錢七厘
 臨時部合計 金貳拾九万八千參百八拾參圓四拾七錢壹厘
 歲出總計 金貳拾九万七百拾六圓七拾貳錢九厘

●富山縣告示第百八十六號

明治三十五年九月二十六日

明治三十五年度富山縣罹災救助基金歲入歲出豫算臨時縣會ノ議決ヲ經テ左ノ通變更追加ス

明治三十五年度富山縣罹災救助基金歲入歲出豫算變更追加

歲出
 第二款 雜費 出 金九百參拾七圓五拾錢
 第一款 公債購入費 出 金七万五千七百五拾圓
 前議決 金七万五千七百五拾圓
 變更 金七百五拾圓

第二項 土木費貸出金
 追加 金七万五千圓

●富山縣告示第百九十一號

明治三十五年九月二十六日

自明治三十五年度富山縣土木費繼續年期及支出方法臨時縣會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム

自明治三十六年度富山縣土木費繼續年期及支出方法

自明治三十五年富山縣土木費繼續年期及支出方法

至明治三十六年度 一金六万貳千參百四圓七拾四錢四厘 土木費中道路橋梁費

內 譯 金參万參千五拾壹圓五拾貳錢七厘 明治三十五年度支出額

金貳万九千貳百五拾參圓貳拾壹錢七厘 明治三十六年度支出額

右庄川改良工事施行ニ伴ヒ實施ヲ要スル縣道線中射水郡新湊町大字六渡寺町全三ヶ新町間道路改修事業ハ實施上ノ都合ニ依リ繼續年期ヲ以テ支出スルモノトス

●富山縣告示第百二十三號

明治三十五年十一月十六日

縣參事會ノ議決ヲ經タル豫算ノ要領左ノ如シ

明治三十五年度富山縣罹災救助基金歲入歲出追加豫算

歲入
 第二款 雜費 入 金五千圓
 第三款 續續 越 金五千圓

歲出
 第一款 基金支出 金五千圓
 第一項 救入助費 金五千圓

●富山縣告示第二百四十四號

明治三十五年十二月二十日

縣會ノ議決ヲ經タル明治三十五年度本縣歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ如シ

歲入

臨時部
 第一款 繰越金 金五千八百四拾參圓七拾九錢四厘
 第一項 前年度繰越金 金五千八百四拾參圓七拾九錢四厘

臨時部

第三款 郡市町村土木補助費 金四千八百貳拾九圓貳拾九錢八厘

第二款 治水堤防補助費 金四千八百貳拾九圓貳拾九錢八厘

第十九款 小學校教員恩給 金千拾四圓四拾九錢六厘

第一項 小學校教員恩給 金千拾四圓四拾九錢六厘

臨時部合計 金五千八百四拾參圓七拾九錢四厘

●富山縣告示第二百四十五號

明治三十五年十二月二十日

縣會ノ議決ヲ經タル本縣小學校教員恩給金歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ如シ

歲入

第一款 小學校教員恩給 金千拾四圓四拾九錢六厘

第一項 小學校教員恩給 金千拾四圓四拾九錢六厘

歲出

第一款 小學校教員恩給 金千拾四圓四拾九錢六厘

第一項 退隱料扶助料 金貳百七拾九圓四拾九錢六厘

第二項 給與金 金七百參拾五圓

●富山縣訓令乙第四十七號

明治三十五年四月十一日

縣立學校

縣立學校經費支出ニ就テハ年度始ニ於テ豫算ノ費目金額ニ照ラシ支拂上超過ヲ來サル様豫テ留意シ取扱フベク且事實不得止支出ノ外ハ流用方容易ニ認議ヲ遂ゲザル儀ニ付豫テ注意スヘク又職員聘用ノ際旅費不足シ豫備費ノ支出ヲ要スル場合ハ豫メ稟申スヘシ

●富山縣廳達第十九號

明治三十五年四月一日

內務部第一課

明治三十四年三月富山縣廳達第十三號縣稅檢查手續第五條ヲ左ノ通改正ス

第五條左記營業者ニ對シ検査ヲ行フトキハ検査簿ヲ携帶シ検査ノ要領ヲ記入スヘシ

鑛泉宿

製造業 但製造品價格百圓以上又ハ工錢收入ノ届出ヲ爲シタルモノ若クハ是等ノ課稅標準アルモノト認ムルモノニ限ル

理髮人 使役人ノ届出ヲ爲シタルモノ若クハ使役人アリト認ムルモノニ限ル

水車 藍瓶

法人建物

検査簿ハ第一號書式ニ依リ毎年度ノ始メ之ヲ調製スベシ

●富山縣廳達第五十四號

明治三十五年十二月二十六日

知事 官房

内務部

警察部

縣費豫算項内ノ費目流用ニ關スル回議ハ左記様式ニ依リ内務部第一課第五課ヘ合議シ決裁ヲ經タル上、直子ニ其際本内務部第一課ヘ回付スベシ

(様式)

明治何年度費目流用ノ回議

科	目	經費		不足額	備考	流用
		第何款	第何目			
		第何款	第何目			全項内第何目何費ヨリ流用
			第何目			全項内第何目何費ヨリ何程
						第何目何費ヨリ何程流用
						全目内何費ヨリ流用

(節ヲ記スルハ節ノ流用ヲ要スル場合トス)

右ハ何々ノ理由ニ依リ流用ヲ要スルニ付御決裁相成度此度相伺候也

●罹災救助

●富山縣訓令甲第一號

明治三十五年一月十日

郡市役所 町村役場

明治三十三年六月富山縣訓令甲第六十號罹災救助基金救助取扱規程中左ノ通改正ス
第九條中標札ヲ掲ケ下ニ「避難者ノ氏名ヲ公示シ」ヲ加フ

第十九條中見込調書ヲ製シノ下ニ「且救助ニ適應ト認ムル物品ニ付當該營業者ノ價格見積書ヲ添付シ」ヲ加フ

第七號書式ノ附記ニ左ノ二項ヲ追加ス

一 家族中勞働ニ堪ヘサル者ノ數ハ年齡ニ歲未滿ノ者及ヒ二歲以上ニシテ實際勞働ニ堪ヘサル者ノ數ヲ各別ニ記載スヘシ

一 他ヨリ扶助スヘキ者ノ有無ハ民法第九百五十四條ニ該當スル扶養義務者ノ内縣稅巨數割負擔歩合ノ最モ大ナル者ノ氏名及ヒ其歩合仍ホ其他扶助スヘキ資力アル者アレハ其氏名資力ヲ掲クヘシ

●富山縣告示第一號

明治三十五年一月十日

明治三十三年六月富山縣告示第百十九號罹災救助基金救助出願心得中第三條ヲ削除ス

▲富山縣告示第一號參照

第三條 罹災前他人ノ家ニ同居若クハ居住セシ者ニシテ小屋掛ノ救助ヲ出願スルトキハ其願書ニ小屋掛ヲ爲スヘキ場所ノ地主連署ヲ要ス

●第七類 財 産

●富山縣令第二十二號

明治三十五年三月二十八日

富山縣營造物管理規則縣會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム

富山縣營造物管理規則

第一條 縣ニ屬スル營造物ハ法令ニ別段ノ規定アルモノ、外本規則ニ依リ管理ス

第二條 營造物ヲ組成スル縣有財産ハ其用ヲ廢スルニアサレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第三條 營造物ハ法令又ハ其性質ニ依リ定リタル目的外ニ使用ヲ爲シ又ハ使用ヲ爲サシムルコトヲ得ス但其目的ヲ達スルニ妨ケナキトキハ此限ニアラス

第四條 法令又ハ其性質ニ依リ一般ニ使用ヲ許シタルモノ、外營造物ノ使用ヲ爲サントスル者ハ縣知事ノ許可ヲ受ク可キモノトス

前條 但書ニ依リ營造物ヲ使用シ又ハ其使用ヲ許可スルトキハ縣參事會ノ議決ヲ經ヘシ但使用期間六ヶ月以内ノモノハ縣知事ニ於テ專決ス

第五條 營造物ノ使用ヲ許可スルトキハ五年以内ニ於テ期間ヲ定ム可シ但期間滿了ノ際更新スルコトヲ妨ケス

第六條 營造物ヲ使用スル者ハ法令又ハ其性質ニ依リ認許セラレタル用方ニ從フ可シ其許可ヲ受

ケテ使用スル者ハ指定シタル用方ニ從フコトヲ要ス
營造物ノ管理上必要ナル用方ノ制限ハ縣知事之ヲ定ム

第七條 營造物ノ使用權ハ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ移轉スルコトヲ得ス
使用權ヲ承繼シタル者ハ之レニ伴フ義務ヲ承繼ス

第八條 營造物ヲ使用スル者ハ左ノ義務ヲ負擔スルモノトス

- 一 營造物ニ損害ナキ様充分ノ注意ヲ爲スコト
- 二 指定ノ使用方法ニ依リ營造物ニ定著シテ工作物ヲ設ケ又ハ營造物ニ變更ヲ生セシメタルモノハ使用權消滅ノトキ原狀ニ回復スルコト但縣ハ原狀回復ノ義務ヲ免除シ無償ニテ附著物ノ所有權ヲ取得スルコトヲ得
- 三 故意又ハ過失ニ依リ營造物ニ損害ヲ加ヘタルトキハ縣ノ選擇ニ從ヒ原狀回復又ハ損害賠償ノ責ニ任スルコト此場合ニ於テ原狀回復ノ方法又ハ損害賠償ノ金額ハ縣ノ指定スル所ニ依ル
- 四 前各號ノ義務ヲ指定ノ期間内ニ履行セス又ハ履行スルモ不充分ナル場合ニ於テ縣又ハ縣ノ命シタル第三者ノ爲シタル代執行ノ費用ヲ負擔スルコト
- 五 前各號ノ外縣知事ニ於テ特ニ命シタル負擔

數人共同シテ使用スル場合ハ前項各號ノ義務ハ連帶ヲ以テ之ヲ負擔スヘシ

第九條 前條第一項第二號但書及第三號ノ處分ヲ爲ストキハ縣參事會ノ議決ヲ經ヘシ

第十條 公益ノ爲メ必要ナリト認ムルトキハ縣知事ニ於テ何時ニテモ營造物ノ使用ヲ停止シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ使用者ガ損害ヲ被ムルコトアルモ縣ハ賠償ノ責ニ任セス

第十一條 左ノ場合ニ於テハ縣知事ハ何時ニテモ使用ノ許可ヲ取消スコトヲ得

- 一 第六條又ハ第八條ニ違背シタルトキ
- 二 第七條ノ規定ニ依ラスシテ第三者ニ使用ヲ爲サシメタルトキ
- 三 使用料ヲ徵スル場合ニ於テ納期限内之ヲ完納セザルトキ

附 則

第十二條 此規則ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

第十三條 此規則施行前ヨリ第四條ニ依リ許可ヲ受ク可キ營造物ヲ使用スル者ハ施行後六ヶ月以内ニ更ニ許可ヲ受ク可シ
前項ノ期限内ニ使用出願ヲ爲サハルトキハ從前ノ許可ハ効力ヲ失フモノトス出願スルモ許可ヲ得サリシ場合亦同シ

●富山縣訓令甲第二十一號

明治三十五年二月十二日

三三四

知事官房	部	課	警察署
警察分署	郡役所	縣立學校	
農事試驗場	測候所	水産講習所	

縣有財產臺帳整理規程左ノ通相定ム

但本令ニ抵觸スル從前ノ訓令ハ之ヲ廢止ス

縣有財產臺帳整理規程

第一條 內務部第一課ニハ縣有財產全部ノ臺帳ヲ又官房部課ニハ其主掌ニ屬スル部分ノ縣有財產臺帳ヲ臺帳様式ニ依リ設備シ其増減異動ヲ明確ナラシムヘシ

但官房部課ニハ戊之部及己之部ハ設備スルヲ要セス

第二條 郡役所、縣立學校、警察署、警察分署、農事試驗場、測候所、水産講習所ニハ臺帳様式ニ依リ其管掌ニ係ル縣有財產臺帳ヲ設備スヘシ

從前又ハ將來ニ於テ別ニ臺帳ノ設備ヲ命スルモノハ前項ノ臺帳ヲ設備スルヲ要セス

第三條 郡役所、縣立學校、警察署、警察分署、農事試驗場、測候所、水産講習所ハ其管掌ニ係ル財產

ニ増減異動ヲ生シタルトキハ其都度臺帳様式ニ依リ三日以内ニ知事ヘ報告スヘシ

但戊之部ニ屬スルモノハ之ヲ除ク

第四條 官房部課ハ第三條ノ報告ニ依リ其報告ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ設備ノ臺帳ヲ加除更正シ其増減異動ヲ臺帳様式ニ依リ內務部第一課ヘ報告スヘシ

第五條 臺帳様式ノ丙戌之部及己之部ハ內務部第五課ニ於テ毎年三月三十一日現在ニ依リ其年度間(會計年度)ノ増減異動ヲ調査シ臺帳様式ニ依リ毎年六月三十日迄ニ內務部第一課ヘ報告スヘシ

第六條 內務部第一課ハ第四條及第五條ノ報告ニ基キ設備ノ臺帳ヲ整理スヘシ

第七條 內務部第一課ハ戊之部及己之部ハ毎年三月三十一日現在其他ハ毎年最近ノ現在ヲ以テ縣有財產表ヲ調製シ其年開會ノ通常縣會ヘ報告ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 內務部第一課ハ縣費支辨ニ屬スル建物受渡濟ノ報告ヲ受ケタルトキ又ハ其他必要ノ場合ニハ實地調査ヲ爲スヘシ

附 則

第九條 郡役所、縣立學校、警察署、警察分署、農事試驗場、測候所、水産講習所ハ本規則第三條ニ當ル財產ノ三十四年八月一日以後本規程發布ノ日マテノ増減異動ハ三十五年三月二十五日迄ニ臺帳様式ニ依リ知事ヘ報告スヘシ

官房部課ハ前項ノ報告ニ依リ設備ノ臺帳ヲ加除更正シ其増減異動ヲ臺帳様式ニ依リ四月五日迄

備	鐵	柵	全	上	全	上
井戸	館					
計						

備考

一此部ハ一構ヒ毎ニ一枚ヲ用ヒ土地ニ定著セル總テノ建造物ヲ登記スルモノトス
 一所在地欄ニハ「郡市町村大字番地」ヲ記入スルモノトス

(丙) 有價證券之部 用途

種類	記名無記名ノ別	記號	額	面	利率	價	格	編入年月日	除却年月日	理由	備考
計											

備考

一種類欄ニハ「整理公債」「軍事公債」「何株券」等ノ別ヲ記入スヘシ
 一用途ハ「罹災救助基金」「水災基金」等ノ別ヲ記入スヘシ

(丁) 金員之部 用途

年月日	金額	編入ノ原因並除却ノ理由	保管方法	備考
年月日	五〇〇〇〇	何々賣却代加入	預銀行入	
年月日	四〇〇〇〇	何銀行へ預入金ノ内ヲ以テ何公債證書額面四百圓購入	預銀行入	
改通計	一〇〇〇〇〇		預銀行入	

備考

一用途ハ「慈善救濟資金」「衛生基金」等ノ別ヲ記入スヘシ
 一保管方法欄ニハ「郵便貯金」又ハ「何銀行へ預入」等ノ別ヲ記入スヘシ
 一〇印欄ハ朱書トスヘシ

(戊) 器具器械(圖書(標本)之部) 用途

現存數調査年月日	現在員數	現在價格	前年調査後異動	備考
明治三十四年三月三十一日	五百	占二〇〇〇〇		
明治三十五年三月三十一日	五百四十五	点二五〇〇〇	買入平点 寄付五點	
			賣却五點 棄却五點	

備考

一器具器械、圖書、標本等ハ各部門ヲ改メ記入スヘシ
 一員數欄器具器械、標本等ハ其點數、圖書ハ其部數ヲ記入スヘシ
 一前年調査後ノ異動欄ハ四月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル一會計年度間ノ異動ヲ記入スヘシ

(己) 動物之部

種類	員數	價格	編入年月日並原因	除却年月日並理由	備考
馬					
牛					
計					

備考

一物産陳列場備付ノ動物及農事試驗場用ノ動物等ハ本様式ニ依ルヘシ
(庚) 樹木之部

所在地	種類	長サ	サ	目	延	員數	取内年月日並事由	價格	除却年月日並事由	備考	用途
計											
杉											
松											
備考											

一敷地毎ニ一枚ヲ用ヒ其敷地内各樹木ヲ記入スヘシ

一目廻及長サハ植付當時ノ尺數ヲ記入スヘシ
一所在地欄ニハ「郡市町村大字番地」ヲ記入スヘシ

● 富山縣告示第百十六號

明治三十五年六月十三日

縣參事會ノ議決ヲ經テ富山縣衛生基金管理方法第五條富山縣水災基金管理方法第五條及富山縣慈善救濟資金管理方法第六條ヲ除削ス

● 縣債

● 富山縣令第四十一號

明治三十五年五月十六日

明治三十一年三月 富山縣令第二十二號富山縣土木縣債規則縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通追加ス
第十六條ノ二 本公債ハ縣經濟ノ都合ニ依リ證書額面金額以內ヲ以テ購入銷却ヲ爲スコトアルヘシ

● 富山縣令第四十二號

明治三十五年五月十六日

明治三十三年十一月 富山縣令第九十號富山縣土木縣債規則縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通追加ス
第十六條ノ二 本公債ハ縣經濟ノ都合ニ依リ證書額面金額以內ヲ以テ購入銷却ヲ爲スコトアルヘシ

シ

●富山縣告示第百五號

明治三十五年五月三十日

本縣土木公債償還ノ爲メ本月二十日縣參事會立會ノ上當廳ニ於テ抽籤ヲ執行セリ其當籤金額證
書種類記號番號及償還金額並ニ利子支拂期日左ノ如シ

一 證書額面壹萬圓也

七分利付土木公債當籤額

元號證書額面參千圓

壹千圓券三枚

亨號證書額面壹千圓

五百圓券貳枚

利號證書額面參千參百圓

壹百圓券三拾三枚

〇〇九八	〇二六〇	〇二六八	〇二七五	〇二七六
〇二八〇	〇三三三	〇三八一	〇四六七	〇四七三
〇五〇一	〇五二七	〇五二八	〇五六七	〇五八八
〇五九二	〇八一三	〇八一九	〇八九七	〇九五〇
一〇四九	一一二二	一一二八	一一九八	一一九九
一二八一	一三三〇	一四六三	一七一九	一七六四
一八三二	一八三七	一八七四		
貞號證書額面貳千七百圓		五拾圓券五拾四枚		

〇〇八七	〇一四九	〇一五六	〇一六八	〇一八三
〇二六五	〇三一九	〇四三九	〇四四〇	〇四六七
〇五一八	〇五五四	〇五八五	〇六〇七	〇六一七
〇六六四	〇六九九	〇七〇〇	〇七〇九	〇七六六
〇八四四	〇九四〇	〇九四五	〇九六五	一〇五八
一一四三	一二三二	一三六六	一四〇三	一四六一
一六四五	一七一七	一七二四	一八七八	一九〇八
一九五三	一九五五	二〇二〇	二二二一	二二四〇
二三四〇	二三五〇	二四〇四	二四六三	二六八四
二八九三	二九四一	三〇二九	三〇六〇	三〇六九
三〇七二	三〇七三	三一〇七	三二〇一	
一證書額面九萬參千圓也		九分利付土木公債當籤額		
甲號證書額面貳萬九千圓		壹千圓券貳拾九枚		

〇〇二	〇〇四	〇〇九	〇一五	〇一八
〇三三	〇三四	〇三七	〇三八	〇四九
〇六四	〇六八	〇七〇	〇七三	〇八九
〇九一	〇九九	一〇二	一一〇	一一六
一一八	一二一	一二五	一二六	一二八
一二九	一三〇	一五一	一七三	
乙號證書額面參萬貳千圓		五百圓券六拾四枚		

丙號證書額面貳萬六千圓

〇〇七	〇二二	〇一五	〇一六	〇一九
〇二〇	〇三二	〇三四	〇二六	〇三九
〇四一	〇四六	〇五二	〇五九	〇六二
〇八七	〇八九	〇九〇	〇九一	〇九四
〇九五	〇九八	一〇八	一一〇	一二六
一二八	一三四	一三五	一三七	一五六
一六三	一六六	一六七	一七二	二七九
一八四	一九一	一九二	一九七	二〇三
二〇七	二二二	二二七	二三七	二四〇
二四三	二六三	二六八	二六九	二七六
二七七	二八八	二九一	二九四	三〇四
三〇五	三二二	三二七	三六一	三六六
三六八	三六九	三七二	三七五	三六六
〇〇三	〇〇五	〇〇七	〇〇三	〇〇四
〇〇三九	〇〇四〇	〇〇一七	〇〇二三	〇〇二四
〇〇六〇	〇〇六六	〇〇五二	〇〇五八	〇〇五九
〇〇九六	〇〇九八	〇〇八一	〇〇九三	〇〇九四
〇一一六	〇一一八	〇一二六	〇一二九	〇一一七
〇一三五	〇一三八	〇一四〇	〇一四二	〇一五七

壹百圓券貳百六拾枚

〇一六〇	〇一六四	〇一六五	〇一六九	〇一七五
〇一七八	〇一八三	〇一八六	〇一九三	〇二一〇
〇二二二	〇二一四	〇二二〇	〇二二七	〇二三九
〇二四二	〇二五九	〇二六一	〇二六五	〇二七〇
〇二七四	〇二八三	〇二八四	〇二八五	〇二八六
〇二九七	〇三一四	〇三一五	〇三二二	〇三二四
〇三四三	〇三四五	〇三五七	〇三六五	〇三六六
〇三七六	〇三八〇	〇三八四	〇三八九	〇三九二
〇四〇五	〇四三〇	〇四三二	〇四三七	〇四四〇
〇四四二	〇四四四	〇四四六	〇四四七	〇四六六
〇四七四	〇四七七	〇四八一	〇四九〇	〇四九七
〇四九九	〇五〇〇	〇五〇七	〇五〇八	〇五〇九
〇五二二	〇五一七	〇五三七	〇五二九	〇五三〇
〇五三四	〇五四六	〇五五七	〇五五九	〇五六〇
〇五六五	〇五七一	〇五八一	〇五八三	〇五八四
〇六一二	〇六一二	〇六一七	〇六三五	〇六三九
〇六四六	〇六五一	〇六五三	〇六五七	〇六五八
〇六六四	〇六七三	〇六八四	〇六八六	〇六八九
〇六九二	〇六九五	〇六九八	〇七〇六	〇七〇六
〇七一六	〇七四二	〇七四五	〇七五三	〇七五七

〇七五九	〇七六四	〇七七三	〇七七五	〇七八七
〇八〇〇	〇八二一	〇八三三	〇八一八	〇八二三
〇八二九	〇八三〇	〇八三六	〇八四二	〇八四五
〇八四六	〇八四七	〇八五七	〇八七三	〇八七九
〇八八五	〇八八六	〇八九〇	〇八九三	〇九〇一
〇九三一	〇九二七	〇九二九	〇九五二	〇九五三
〇九五五	〇九六一	〇九六二	〇九六三	〇九六六
〇九七〇	〇九八七	〇九九四	〇九九三	〇九六六
一〇一四	一〇二三	一〇二五	一〇三二	一〇三三
一〇三九	一〇五二	一〇六三	一〇六六	一〇六七
一〇七六	一〇八〇	一〇八五	一〇八八	一〇八九
一〇九八	一一〇〇	一一〇六	一一一二	一一一八
一一二三	一一三六	一一三九	一一四一	一一五六
一一六〇	一一六三	一一七〇	一一七三	一一七三
一一七五	一一七七	一一八一	一一八三	一一九〇
一二〇一	一二〇九	一二一八	一二一九	一二三三
一二三八	一二三九	一二三三	一二三八	一二四二
一二四五	一二六六	一二六九	一二七〇	一二七二
一二八七	一二九〇	一二九二	一二九三	一二九七
一三〇二	一三〇六	一三一〇	一三三三	一三三七

三五六

三四六

一三三三	一三三五	一三四五	一三六〇	一三六三
一三八六	一三九六	一四〇四	一四〇六	一四〇九
一四一〇	一四二〇	一四三六	一四四一	一四五七
一四五九	一四六二	一四六八	一四七三	一四七五
一四七九	一四九一	一四九二	一四九六	一五〇三
一五〇九	一五一七	一五二二	一五二三	一五三七

丁號證書額面六千圓

五拾圓券百貳拾枚

〇〇六	〇〇七	〇一〇	〇一九	〇二七
〇三〇	〇四七	〇五九	〇六七	〇八三
〇八九	〇九一	〇九八	一〇七	一〇八
一〇九	一一四	一一六	一二九	一二五
一二六	一二七	一三〇	一三三	一四八
一五〇	一五四	一六七	一七二	一七四
二七九	一九四	一九七	一九八	一九九
二八二	二二六	二三〇	二四九	二五七
二八八	二七九	二八一	二八七	二八九

三四七

三四七

二九八	三〇〇	三〇九	川一四	三三九
三三六	三四六	三四七	三五三	三五六
三六一	三六三	三七二	三九五	三九八
四二一	四一八	四三〇	四三九	四四四
四四八	四五六	四五七	四六二	四六五
四八四	四九〇	四九一	五〇一	五〇八
五〇九	五一〇	五一一	五二三	五二六
五三〇	五四三	五四四	五五一	五五五
五五八	五六四	五六八	五七七	五八六
五八九	六〇一	六〇五	六一一	六一二
六一五	六一八	六二〇	六三〇	六三五
六三六	六三八	六三九	六四一	六四二
六四六	六四九	六五三	六五四	六六五
六七六	六八一	六八三	六九一	六九四
六九五	六九七	六九八	七〇七	七〇九

一償還金額並ニ利子支拂期日明治三十五年六月二日ヨリ同月三十日迄

三四八

●富山縣告示第百八十五號

明治三十五年九月二十六日

富山縣明治三十五年水害土木縣債借入及償還方法臨時縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ指揮ヲ受ケ左ノ通相定ム

富山縣明治三十五年水害土木縣債借入及償還方法

一明治三十五年ノ水害ニ因リ生シタル土木費ニ充用スル爲メ金拾四万九千圓以内ノ借入ヲ爲スモノトス

一借入金ハ明治三十五年度ニ於テ金七万五千圓ハ罹災救助基金ヨリ金七万四千圓以内ハ銀行ヨリ借入ル、モノトス

但實施ニ際シ事業ヲ次年ニ繰越ストキハ其年度ニ於テ借入ル、モノトス

一借入金ノ償還年度左ノ如シ

但罹災救助基金ヨリ借入ノモノハ明治三十九年度ニ償還スルモノトス

金四万圓 明治三十七年度

金參万四千圓 明治三十八年度

一全額ノ借入ヲ要セサルトキハ明治三十八年度ノ償還額ニ於テ減スルモノトス
一毎年度ノ償還額ハ其年度三月三十一日迄ニ支拂フモノトス

一 利子ノ定率ハ權災救助基金借入ノモノハ一個年元金ノ百分ノ五銀行借入ノモノハ一個年元金ノ百分ノ十以内トシ毎年度九月三月借入金ニ對スル總額ヲ支拂フモノトス

富山縣令第十七號
明治三十五年三月七日

●第八類 會計

●富山縣令第十七號
明治三十五年三月七日

明治三十三年五月富山縣令第四十五號富山縣會計規則中左ノ通改正明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

第二條中縣立學校ノ下へ「縣立學校分校」ノ六字ヲ挿入ス

第三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但縣立學校分校ハ首席教諭ヲ以テ麻長トス

第十一條 縣稅外ノ諸收入ハ縣稅外諸收入徵收ニ關スル規程、縣稅外諸收入收納順序其ノ他ノ規程ニ依ル

第二十九條第四號ノ次へ左ノ二號ヲ加フ

五 概算渡整理簿 現金前渡整理簿

第三十條第二號ノ次へ左ノ一號ヲ加フ

三 概算渡整理簿 現金前渡整理簿

●富山縣令第三十六號
明治三十五年四月十八日

明治三十三年六月本縣令第四十七號縣經濟ニ屬スル仕拂命令等書式中左ノ通改正ス

一 第四號書式ノ備考中左ノ如ク改ム
(第四號書式ノ一)

備考 依給仕拂ノ際金庫ニ於テ縣吏員納金又ハ懲罰金ヲ引去リ仕拂ヲサシムル場合ニハ此仕拂命令ニ現金仕拂高納金(懲罰金)引去高ノ内譯ヲ爲シ發スルモノトス
(第四號書式ノ二)

備考 第二 債主カ仕拂命令ヲ當テタル金庫ノ出納區域外ニアルトキ債主ノ最モ便利ナル金庫ヲシテ振替拂ヲ爲サシメントスルトキハ書式ノ通り裏書ヲナスモノトス
(第四號書式ノ三)

備考 第二 第四號書式ノ二第二備考ハ本書式ニモ適用ス
第四 第四號書式ノ一備考ハ本書式ニモ適用ス
一 第五號第六號書式左ノ如ク改ム
(第五號書式ノ一) 用紙八寸系紙

何年度集合仕拂命令第 號 金額氏名表
款 何々費

金額	番 號	債 主 氏 名	債 主 住 所
一五〇〇〇	一	何 某	何府縣郡市町村番地

債主何 某外何名渡

(振替拂ニ係ル内譯書式)

金額	番 號	債 主 氏 名	債 主 住 所	振替拂金庫名
一五〇〇〇	一	何 某	何府縣郡市町村番地	何々金庫
一五〇〇〇	二	何 某	何府縣郡市町村番地	何々金庫

明治何年何月何日

仕拂命令者

官 氏 名 印

備考 第一 内譯中債主住所ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫所在地ノ債主ニ仕拂フヘキ分ニハ必要ナシトス

第二 内譯中振替拂金庫ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫以外ニ於テ振替拂ヲナスヘキ金庫ヲ記入スルモノトス

(第五號書式ノ二) 用紙八寸系紙
何年度集合仕拂命令第 號 金額氏名表

款 何々費
一 金 何 程 債主何 某外何名渡